はじめに

本講義は日本の大学受験における最難関「京都大学」を志望する受験生のためのものです。ですから、講義内容も日本で最高峰のものを用意しました。当然、内容も問題も難しいものになっています。しかし、一切妥協することなく最難関大学に合格する力をつけられるものになったと自負しています。ぜひこの講義を受けて、最高の学力を養成し、最難関大学に合格してください。

本講義の現代文の考え方

本講義は文章を従来の「意味論」だけでなく「統語論」の側面からも解説していきます。もちろん文章には「意味」があります。しかし、「意味」というのは読者の側に生成される主観的なものでもあります。ですから、「意味」ばかりを追求していくと、「読者によって意味が異なる」ということが起こり得るのです。

一方、大学入試の問題はたとえ最高峰の記述問題であろうとも、「読者によって解答が異なる」ということはありません。そこには客観的に正しい答えがあって、その答えや答えに至るプロセスがいかなるものかによって点数がつけられます。であれば、言語の客観性である「統語論」的側面を無視することはできません。言語の「統語論」的側面とは以下の三つです。

①　文法
②　構文
③　論理

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

たとえば、①文法ですが、筆者によって副助詞の「も」の使い方が異なるということはあり得ません。また、読者によって副助詞の「も」の機能が異なって受け取られるということもあり得ません。副助詞の「も」は、たとえどんな筆者であろうと、どんな読者であろうと、客観的に機能します。

また、②構文ですが、本講義では「主語―述語」の関係や、「修飾語―被修飾語」の関係や、「接続語―被接続語」の関係からなる文構造のことを構文と呼びます。この構文に関しても、文法と同様のことが言えます。読者によって「文の主語―述語が異なる」ということはありません。構文もまた、どんな筆者であろうと、どんな読者であろうと、客観的に機能します。

最後に、③論理ですが、ここが本講義の最大の特徴です。①文法や②構文は「日本語」という言葉のルールです。それに対し、③論理は「日本語」だけにとどまりません。あらゆる言語に及ぶ最も普遍的なルールといってよいでしょう。数式が世界共通の言葉であるように、論理もまた世界共通の普遍的ルールなのです。本講義では論理を以下の「4つの言葉のルール」と「4つの言葉の使い方」とします。

- **「でない」という否定**
- **「かつ」という連言**
- **「または」という選言**
- **「ならば」という条件法**

以上の4つの言葉のルールを駆使して筆者は文を書きます。ですから、読者も4つの言葉のルールを理解して読まなければなりません。本講義ではその「ルール」と「方法」を伝えます。

柳生　好之

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

受講の際の注意点　効果的な講義の利用法

最高の講義を用意しましたが、ただ映像を見るだけでは力はつきません。効果的に学習するためにも、この利用法を実践してください。

Ⅰ　予習について

まず一度本文を通読し、「要旨把握」と「意味段落分け」をしてください。そして次に、「設問」や「傍線部」を確認してから、「解答の根拠」を本文中に求めてください。最後に、本文中の解答の根拠をもとにして「記述解答」を書いてください。

Ｐａｒｔ１は「制限時間なし」でよいのですべての問題に解答して下さい。その際、「解答の根拠とした文」に線を引いておいてください。できれば、「その部分を解答の根拠とした理由」をメモ欄に書いておいてください。

この作業を予習の段階でしておくことで、講義に集中できる仕組みになっています。

Ｐａｒｔ２は制限時間内に解いてください。場合によっては一部の問題を「捨て問」と判断するのも良いでしょう。制限時間内で合格点をとる練習をします。

予習ポイント　問題を解く。解答の根拠をメモしておく。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅱ　講義について

映像授業だからといって安易に止めたりしないでください。集中力を維持するトレーニングも兼ねていますので、必ずチャプターを通して受講してください。

そして、

映像授業を受講している間は、メモを取らないでください。

ただ見たことをノートに写す、あるいは聞いたことをその場でメモに書くというのは、「頭の中には何も残っていない」状態になりやすいのです。ですから、一つのチャプターが終わった後に、講義を思い出しながら線を引いたりノートに説明や図を書いたりしてください。あくまでも「一度頭の中に置いた」上で、「頭の中から取り出す」という作業を怠らないでください。この作業が「文章を読み、解答を書く」という現代文の解答プロセスのトレーニングになるのです。

講義ポイント	講義中はメモを取らない。説明や図は講義後ノートに書く。

Ⅲ　復習について

よく「現代文は復習しなくてもよい」という意見を聞きます。しかし、そもそも「復習しなくてよい」なら、復習して覚えるべきポイントがない「授業」も受ける必要がないでしょう。受験生の貴重な時間をいただくわけですから、本講義は「復習

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ポイント」も用意してあります。

Ｐａｒｔ１の復習

まず、「解法」をしっかり覚えてください。これは現代文を分析する上で必要になる考え方です。現代文は「全く同じ文章」は出題されませんが、ポイントが同じである「類題」は必ず出題されます。その点は数学と同様だと考えてください。

Ｐａｒｔ２の復習

各設問のポイントを講義で解説します。それを頼りに、定着していなかったポイントの再確認をしてください。そして、もう一度同じ問題を解き、解答を書き直してください。解答の書き直しは現代文の力を上げるために必須の作業です。

復習ポイント	**ポイントを踏まえ類題を解く。解答を書き直す。**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

京都大学現代文対策講座　目次

Part1　論理構造と設問の分析編

第一講　傍線部内容説明問題　2011年　理系第二問……p.8
第二講　傍線部理由説明問題　2010年　文系第二問……p.20
第三講　論理構造分析①「否定」「差異」「類似」　2007年　文系第二問……p.38
第四講　論理構造分析②「条件法」「連言」「選言」　2001年　前期第一問……p.54
第五講　論理構造分析③「心情」「因果関係」　2002年　前期第一問……p.66

Part2　最新過去問研究編

第六講　2014年　理系第二問……p.82
第七講　2014年　文系第一問……p.88
第八講　2015年　理系第二問……p.98
第九講　2015年　文系第二問……p.106
第十講　2015年　文系第一問……p.114

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ｐａｒｔ１　論理構造と設問の分析編

このＰａｒｔ１では基本的な「読み方」と「解き方」を学びます。過去１５年分の京大の過去問の中から厳選した問題を解くことで、効率的に京大が求める「読み方」と「解き方」を身につけましょう。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　傍線部内容説明問題

「傍線部内容説明問題」とは京大現代文において、最もオーソドックスな設問です。そしてこれから始まる「各設問別解法」の土台となる「解法」なので、しっかりとマスターしましょう。

その設問形式は次の通り、

傍線部～とあるが、どういうことか　説明せよ。
or
どういう意味か

というものです。この問題に対して常に一定のフォームでアプローチするように心がけましょう。それが「設問解法」であり、現代文で常に高得点をとるための王道です。

では、どのようにアプローチするかというと、次の通りです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

傍線部説明問題解法

―「どういうことか」の解答プロセス

①「文構造」を分析する。
・文法的構造
・論理的構造

↓

②「ポイント」を把握する。
・指示語
・比喩表現
・個人言語

↓

③「解答の根拠」となる文と対応させる。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※① 「文構造」の分析について

★ 文法的構造

・主語（主部）―述語（述部）
・修飾語（修飾部）―被修飾語（被修飾部）や目的語（目的格）や補語（補格）など
・接続助詞や連用中止法
・倒置や省略

★ 論理的構造

・否定　・差異（変化）
・連言　・類似（アナロジー）
・選言　・逆説
・条件法　・因果

設問を解く際には、まずは傍線部（または傍線部を含む一文）の統語論的「構造」を分析することからスタートします。この構造を正確に分析して、なるべく元の構造を生かして、解答を構成するためです。ただし、日本語の慣習的統語規則を鑑みて、受動態から能動態に変換するなど元の構文を変形する場合もあります。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

※②「ポイント」になる語句について

★指示語（代名詞）

㊢これ、この、このような、このように、それ、その、そのような、そのように　など

㊹前者、後者、両者、右の、彼　など

★比喩表現　＝　直喩、暗喩、メタファー、レトリック　など

★個人言語　＝　筆者が一般的な意味とは異なる特殊な意味で使っている言葉、学術（専門）用語

※③「解答の根拠」となる部分との対応について

★同値関係

★対立関係

★因果関係

★包摂関係（抽象と具体の関係）

以上の関係がある部分と対応させせます。

このような関係で対応した部分が、記述解答を書く際の「解答の根拠」となります。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「一般化」とは

個別的な違いを捨てて共通のものを残すことによって広く通じる概念・法則をつくること。

「一般化」とは個別的、具体的に見れば異なる事象に共通点を見いだして、まだ見たことのない事象にも応用可能な本質的原理を作り出す作業です。この作業はあらゆる学問（科学）の基本であるため、京大はその力その姿勢が受験生にあるのかを見たいのです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（次ページより問題演習）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission 「どういうことか」を攻略せよ！

第一講　傍線部内容説明問題　２０１１年理系第二問

次の文を読んで、後の問に答えよ。

書かれる言葉は、話される言葉と違って、実は時代や社会によってその使命や性格を非常に異にしている。昔のことは今は言わない。現代においては、それはたいていの場合目で黙読されるために印刷される運命にある言葉であり、少なくともそれを理想的境地として目差している。このように印刷されるということは、書かれる言葉にとって決して軽視されることのできない意義をもっている。アランはそこに近代散文の主要特徴をさえ見ているくらいだ。彼は言う。「散文の特性は、先ず第一に印刷された紙の上に、その純粋な抽象の形態において現われ、何ら作家の身体の動きのあとかたをとどめぬことにある。」彼に言わせると、肉筆で書かれたものは、続け字や略字のためにその行間になお何か身振り的なものや舞踏的なものを残しているが、印刷はそれを払拭して、抽象的に均一化するのである。

しかし書くということには、彼が指摘しているようなかかる表面的な身体性ばかりでなく、(1)もっと深いところに根差している身体的なものも

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

現われており、そのものの払拭も印刷の役目の一つになっていないであろうか。というのは、作家の表現の努力そのもののあとかたであるところの、消し、直し、書き足し等が、書く行為には多少とも必ず随伴しているからである。しかしかかる書く工作のあとをありありと示している大作家の「原稿」を写真版にして忠実に示したからと言って、彼の傑作の一頁がより美しいものに見えることになるであろうか。必ずやその効果は逆であろう。

　ここに話される言葉と書かれる言葉との第一の相違点がある。話される言葉は本来即興的にほとんど猶予なしに産出され、産出されるままに多少の訂正と彫琢とを受けながら、しかも多くは未完成にとどまったままその使命を終えてしまうものであるのにひきかえ、書かれる言葉は一定の時間をかけられて構成され、再構成され、とにかく仕上げを完うされたものとして、しかる後にその使命を果たさんがためにおもむろに提出されるのが普通である。前者はその場限りの試作、後者は多少とも持続に運命づけられた完成品。前者には関係者は現場のごたごたの中で立ち会い、後者には関心者は工場を離れた出来上がった品物だけとして見参する。

　これらは極めて卑近な観察にすぎないが、しかしそれからだけでもありのままの話される言葉と一定の目標と境地とを目差さねば用をなさぬ書かれる言葉とが、いかに違って来なければならぬかは明らかであろう。かく

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「どういうことか」を攻略せよ！

て話される日常の言葉とその組立てとがたとい文章の前提ではあっても、文章はどんな初歩的なものでも例外なく何らかの思想の絆によって全体が貫かれ、引き締められ、この全体的連関の見通しにおいて、絶えず後ろを振りかえり、且つ前を見してそこから余計なもの、冗漫なもの、重複的なものを取り除くという心構えと作業を欠かすわけに行かないのである。ヴァレリーの次の言葉は、この原始的な基礎工作が、文章の第一歩であることを言おうとしているのであろう。

「『いやあ。』――『つまり。』――『*ネ・ス・パ？』等々。こういったような模索の言葉はすべて書かれた言葉から消されてしまうのだが、これが文章の最初の行為である。」

(2) かかる何でもないような浄化の仕事が、既に書かれる言葉を話される言葉から区別させているのであるが、そのような工作はやがて曖昧な言い廻しや陳腐な月並句等々を除去してゆき、ついには耳にうったえるようなものさえも慎重に回避するに至るのである。というのは、アランの言ったように、「眼のためにつくられたこの芸術（散文）においては、すべて耳にうったえるものは下品になる」から。演説口調の、調子づいた、それに反復句の多い文章が、洗練された散文読者にとって我慢のならぬ悪趣味として不快感を催さしめる事実を我々はしばしば見てきているのである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

（林達夫「文章について」より）

注（＊）
ネ・ス・パ？＝フランス語の付加疑問文。「〜ですよね」という念押しの際に用いる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）はどういうことか、わかりやすく説明せよ。

問二　傍線部（2）はどういうことか、「書かれる言葉」の特質をふまえて説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　傍線部内容説明問題　講義のまとめ

「どういうことか」の問題とは

↓

①　文構造（[①]、[②]）の分析ができているか

②　[③]、[④]、[⑤]を文脈から正確に理解し、かつ、誰にでもわかるように表現できるか

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　傍線部理由説明問題

傍線部の問題の２大パターンが前回の「傍線部説明問題」と今回の「傍線部理由説明問題」です。ではまずその形式から確認しましょう。その設問形式は次の通り、

傍線部～とあるが、なぜか　or　その理由を　説明せよ。

というものです。この問題に対してもやはり一定のアプローチの仕方があるので、今回はその設問解法を学びましょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

傍線部理由説明問題解法

――「なぜか」の解答プロセス

①「文構造」を分析する。
・文法的構造
・論理的構造

↓

②「ポイント」を把握する。
・Ａ→×
（飛躍している部分）

↓

③「解答の根拠」となる文と対応させる。
・Ａの説明
・「論証」のフレームワーク

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅰ 「A↓x」の発見

論証が必要な命題（文）には「A↓x」という飛躍した部分があります。まずは、どこに飛躍があるかを見つけましょう。

①　主語（主部）↓述語（述部）に飛躍がある場合。
②　修飾部（接続部）↓被修飾部（被接続部）に飛躍がある場合。

※文構造（係り受け）を分析する中で、構造的につながっているが、意味的につながっていない部分を探します。
※「x」は、「なぜ『〜』か」というように設問が指定している場合もあります。

Ⅱ 論証部の発見

飛躍を埋める部分が論証部となります。「A↓x」のAの説明を求めましょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅲ「論証」のフレームワーク

①「単純な論証」　A → B

根拠Aから主張Bが導かれている。

例文　A子ちゃんは美人だ。　　　　根拠　A

したがって、導出　←

私はA子ちゃんが好きである。　主張　B

※実はこの導出に必要な前提として、「私は美人が好きだ。」というものがあります。
これは「隠れた前提」として筆者の論証が成り立つように補ってやる必要があります。
筆者の論証が成り立つように隠れた前提を補うというルールを「**寛大の原則**」といいます。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②「論証の連鎖」　A　↓　B　↓　C

主張Aが根拠Aとなって主張Bが導かれ、その主張Bが根拠Bとなって主張Cが導かれる。

例文　A子ちゃんは目鼻立ちがはっきりしている。　主張　A　＝　根拠　A

したがって、導出　↓

A子ちゃんは美人だ。　主張　B　＝　根拠　B

したがって、導出　↓

私はA子ちゃんが好きである。　主張　C

※この形が「論証」の中では一番多いです。「論証」の最後に来る文が「主張提示文」になります。
その前の文は「根拠」となります。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

③「結合論証」

主張ＡとＢが組み合わさって一つの根拠を形成し、主張Ｃが結論付けられる。

Ｂ　＋　Ａ
↓
Ｃ

例文

Ａ子ちゃんは美人だ。	主張Ａ
＋　結合	
私は美人が好きだ。	主張Ｂ

＝　根拠

したがって、導出　↓

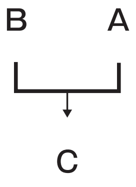
私はＡ子ちゃんが好きである。　主張Ｃ

※23ページで説明した「隠れた前提」がある場合、この「結合論証」となります。この形も「理由説明問題」ではよく出題されます。

※「Ａのみ」「Ｂのみ」の解答は減点されます。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④「合流論証」



根拠Aだけでなく根拠Bもあり、主張Cが導かれる。

例文　A子ちゃんは美人だ。　根拠　A

また、

A子ちゃんは性格もよい。　根拠　B

したがって、導出　←

私はA子ちゃんが好きである。　主張　C

※この場合はどちらか片方だけでも「根拠」になります。
設問の場合には「理由を二つ説明せよ」となることが多いです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅳ　論証を捉えるヒント

A　帰結の接続表現

「だから」「したがって」「よって」
「それゆえ」「ゆえに」
「それで」（「そこで」）

B　理由の接続表現

「なぜなら」「というのは（も）」
「けだし」「だって」

C　助詞など

「～から」「～ので」「～ため」「～より」「～のだ」「～のである」　→　「～」が原因・理由を表す

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

D　直接表現、比喩表現など

「理由」「原因」「結果」「帰結」「結論」
「〜から生じる」「〜に根ざしている」
「根源」「背景」など

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（次ページより問題演習）

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「なぜか」を攻略せよ！

第二講　傍線部理由説明問題　２０１０年文系第二問

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

私たちは確かに人間です。私たちは人間として生きています。しかし、(1)「本当に生きているか」と尋ねられると、あるいは、自分で自分に問う場合、「はい」とはっきり答えられるでしょうか。むしろ、「これでいいのか」と思うことがしばしばではないでしょうか。あるいは、「どこかおかしい、なにか間違っている」という感じがして、「人間であるとは一体どういうことか」、「本当に生きるとはどういうことか」という問が起こってくるのではないでしょうか。人間については限りない言葉が言われてきました。また、「真の人間」とはどういう人間か、「本当に生きる」とはどういうことか、についても限りない言葉が言われてきました。或る言葉が或る人に或るとき、深い感銘を与え、生涯の導きになるということは少なくありません。私は十年ほど前に、たまたま新聞で俳句のような短い子供の詩を読んで、深く感銘し、本当に生きるとはこういうことだと思われ、その句が心から離れなくなりました。それは、こういう句です。「秋深し

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

柿も熟した　おじいちゃん　死ぬな」。死に面して、死を通して、深い自然のなかで、共に生きる。私は、ここに「原宗教」とでも言うべきものを感じます。なにかあると、この句がくりかえし心に出てきて、私の存在を或る境地に誘います。あるいはまた、これが本当の人間だと感銘を受ける人間に実際に出会い、その人を模範にして生きるということもあります。私自身も長い人生のなかで男性女性少なくとも数名の名前をはっきり挙げることができます。完全無欠な人間ということではありません。それは理想的というより空想的です。そうではなくて、長い間一緒になにかをしてきて、或る具体的な問題にぶつかって、現実に現れるその人のあり方、仕方に感銘を受けて、実際に模範になったという意味です。

　私たち人間は、人間であれば「人間である」のではありません。人間はしばしば人間でなくなります。非人間的になり、悪魔的にすらなります。日々報道され見聞する考えられないほどの恐ろしいことも、なさけないことも、しているのはすべて人間です。そのようなことをなしうる可能性が「人間であること」のうちに初めから備わっていると見なければなりません。「人間である」とは、人間でなくなるか、真の人間になるか、不安定な両義的可能性のなかにあって、どういう人間になるかが問われているということです。悪魔的にすらなりうる可能性まで見ますと、この両義性は

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission

「なぜか」を攻略せよ！

不気味な謎とも言えます。「人間とは恐ろしいものだ」という言葉が説得性をもつほどです。人非人という言葉もあります。しかし一方、真人間という言葉があります。「真人（しんじん）」という言葉もあります。また人間の実存面においては価値概念も善悪、真偽、迷悟というようにプラス／マイナスの一対になっています。人間に関して「真の」ということが言われなければならない所以があるわけです。「人間である」ことには、本来「真の人間」になるべき課題が含まれています。「真の人間」という特別な人間があるわけではありません。「人間である」ことの真実にかかわる問題です。

　私たち人間はおかしくなったり、でたらめになったり、迷ったり、間違ったりするだけでなく、悪質になったり悪辣（あくらつ）になったりします。それに気がついて、あらためて人間になる道、「人となる道」を歩む全プロセスが「人間であること」の実質になります。その際「それに気がつく」のは、人間について経験する経験にもよりますが、なによりも根本的には、自覚の働きです。自覚は自己理解や自己認識とは質的に異なり、当の人間が自分において二重に現れてきます。「(現に) ある自分」と「あるべき自分」と。そしてそこに自己実現ないし自己転換の要求が含まれています。しかし自覚に関しても、人間であれば人間としての自覚があるのではありません。人間は往々にして無自覚のままです。自分についての意識はあらざるをえ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

ませんが、多くの場合自意識になってしまいます。自意識はすべてのものを自己関心によって歪(ゆが)めて写します。自意識は意識の癌(がん)と言わなければなりません。自意識は根本的に自閉的です。それに対して自覚は目覚めです。ほとんどの場合、人間に出会って人間に目覚めます。これが本当の人間だと感じられ思われる人間に出会って、その人に接して、その人から人間であることを学びつつ、人間として養われてゆきます。昔から「或る人に親(しん)炙(しゃ)する」という言葉がある所以です。「人間とは何か」は、当の人間にとっては、定義の問題ではなく、「どのような人間になるか」という実存問題に対してどのような人間が模範として出会われるかにかかっています。その出会いは、出会いであるかぎり、あくまで与えられるものであって、こちらから差配することはできません。しかし単に偶然にではなく、こちらに求めるところがなければ、与えられません。それも単に外に求めるのではなくて、「これでいいのか」、自分自身に行き詰まって「どうしたらいいのか」という問に自分がなっているという窮地が、真に求めていることのリアリティです。

　そのような出会いと交わりにおいて人間は、人間から、人間であることを学びつつ、人間として養われてゆきます。人間は、人間に、人間であることを教えつつ、人間を育ててゆきます。この全プロセスが「人間である

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission 「なぜか」を攻略せよ！

こと」に属しています。教育ということ、狭い意味の学校教育だけではなく(2)「教える」／「学ぶ」ということが「人間であること」に本質的である所以がここにあります。人間であるかぎり、生涯、教育ということが課題になります。この「教える」／「学ぶ」には訓練ということが欠かせません。訓練は単なる学習でもなく、練習でもありません。きちんと坐る、きちんとお辞儀をするというようなごく単純な訓練であっても、その要は人間形成ということ、あるいは「行(ぎょう)」とすら言えることです。この最も単純にして基礎的なことがゆるがせにされ、無視されると、その結果は簡単には直せないような人間の状態を惹(ひ)き起こすことになります。それにもう一つ特に注目したいのは、歴史的に特別な事態として現代の生活文明には本質的に人間を非人間化する傾向があるということです。それだけに、「人間であること」を単純素朴な基礎からたどり直して考察し反省し考慮し実践することが大切だと思います。根本問題は「人間である」ということ、それはどういうことかに尽きます。

（上田閑照「宗教とは何か」より）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）のように筆者が考えるのはなぜか、説明せよ。

問二　傍線部（2）のように筆者が考えるのはなぜか、わかりやすく説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　傍線部理由説明問題　講義のまとめ

「なぜか」の問題とは

↓

① 文構造（[①]、[②]）の分析ができているか

② [③]を分析し、その[③]を埋める[④]を読めるか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　論理構造分析①　「否定」「差異」「類似」

「否定（でない）」について

「否定」とは対立する概念「補集合」を作り出す言葉です。否定の前後には「対義語」または「対立する内容」がくるということを確認しましょう。

この否定は、「傍線部内容説明問題」などを中心にどの設問にもからむ可能性のあるもので、論理的読解の一番の基礎になるものです。正確に分析できるようになって下さい。

「否定」のフレームワーク

① A ではなく B である。
② A よりむしろ B
③ A のようで実は B

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「否定」のルール

Ⅰ、矛盾律　「（AはBであり、かつ、Bでない）ということはない」
（AはBであり、かつ、Bでない）を矛盾という。

Ⅱ、排中律　「AはBであるか、または、Bでないかのどちらかである」

Ⅲ、二重否定取り　「Aでない（でない）→　A」

Ⅳ、背理法　「Aを仮定して矛盾が導かれるとき、Aでないと結論してよい」

「差異」のフレームワーク

① A　は　X　であるのに対し、B　は　Y（Xでない）である。
② A　は　X　であるのとは異なり（とは違って）、B　は　Y（Xでない）である。
③ A　は　X　であるのとは別に（とは逆に）、B　は　Y（Xでない）である。

※　二者（AとB）の違いを説明するフレームワーク。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅰ、重要概念対義語

□**主観**
① 対象を認識する自分の意識。
② 自分だけの感覚や考え。

↔

□**客観**
① 自分の意識と関わりなく存在する対象。
② 誰にとっても同じであること。
③ 第三者の立場や考え。

□**主体**
自らの意思に基づいて行動し、その作用を他に及ぼすもの。

↔

□**客体（対象）**
主体の認識、行為の対象となるもの。

□**普遍**
いついかなる時代や場所でも当てはまること。

↔

□**特殊**
① 他のものとは異なること。
② 限られた部分や状況にしか当てはまらないこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□**絶対**
① 他に比較するものや対立するものがないこと。
② 他のものに制約・制限されないこと。

↔

□**相対**
他との比較や関係において成り立つこと。
（参考）**相対化**　他との比較において客観的に捉えるようになること。
相対主義　唯一絶対のものを認めずそれぞれの固有の在り方を認める考え。

□**抽象**
個々の物事から、それらに共通する性質を抜き出すこと。

↔

□**具体**
① はっきりとした形や内容を持っていること。
② 現実に即していること。

□**捨象**
抽象する際に抜き出される性質以外の部分を切り捨てること。

□**分析**
複雑な事柄、現象を部分や要素に分けて、その内容や性質を明らかにすること。
（参考）**要素論**　要素（＝それ以上簡単なものに分析できないもの）を調べることで全体を理解しようとする考え方のこと。

↔

□**総合**
ばらばらになった個々の要素をまとめあげること。
（参考）**機械論**　物事を精密に組み立てられた機械のように見なす考え方。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□**有機**　一つ一つの要素が集まり、相互につながりを持っていて、よくまとまっている様子。

□**無機**　整然とした機械のように、生命が感じられず、温かみのない様子。

□**現象**　ある物事が形となって表れたもの。

□**本質**　個々の現象の背後にあってそれを成り立たせているもの。

□**帰納**　一つ一つの事例から一般的な法則を抽き出すこと。

□**演繹**　一般的な法則から一つ一つの具体的な結論を出すこと。

□**理論**　物事を説明するためのまとまった論や知識。

□**実践**　実際に行動に移すこと。

（有機↔無機、現象↔本質、帰納↔演繹、理論↔実践）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅱ、近代的二項対立語

□**精神**　人の心の働きのこと。
↔
□**身体**　人間の物質的な側面のこと。

□**理性**　合理的に物事を判断する心の働き。
↔
□**狂気**　常軌を逸していること。また、そのような心。

□**文明**　人間が科学技術により生み出した生活習慣や社会的な決まりごとが認められている状態・社会のこと。
↔
□**未開（野蛮）**　まだ文明社会の生活習慣が入り込んでいない状態・社会のこと。

□**意識**　自分が何をしているかまたはしようとしているかに気づいていること。
↔
□**無意識**　①自分の振る舞いに気づいていないこと。
②心の深層にあり、主体の行動に影響を与えるもの。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□**自律**　自分で自分を律すること。それだけで成立していること。

↔

□**他律**　他からの命令・強制に従って行動すること。

□**自立**　自分だけの力でやっていくこと。

↔

□**依存**　自分以外のものに頼っていること。

□**自由**　心のままであること。責任を持って何かをすることに障害（束縛、強制）がないこと。

↔

□**拘束（束縛、強制）**　行動の自由を制限し、または停止すること。

□**個人**　一人の人間。

↔

□**社会**　人間が集まって共同生活をする集団。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

□正常　正しい状態にあること。普通であること。

↔

□異常　普通とは異なっていること。

□秩序（コスモス）　整然とまとまっている様子。

↔

□混沌（カオス）　物事がバラバラな状態。

□画一　整然とまとまっている様子。

↔

□多様　物事がバラバラな状態。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「類似」のフレームワーク

①　Ａ　は　Ｘ　である。
　　また（同様に、それと似て）
　　Ｂ　も　Ｘ　である。
②　Ａ　と　Ｂ　は　ともに　Ｘ　である。
③　Ａ　と同様に　Ｂ　も（また）　Ｘ　である。
④　Ａ　と　Ｂ　は　Ｘ　という点で同じである。

※「類似」のフレームワークとは、何か（Ａ）と何か（Ｂ）の共通点について述べる時に使われるフレームワークです。
※「も」という副助詞や、「また」という副詞に注意すると類似は見つけやすくなります。
※類似を使った比喩を「類比」といいます。
※類似は「アナロジー」「類推」という言い方もあります。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（次ページより問題演習）

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission

「差異」と「類似」を攻略せよ！

第三講　論理構造分析①　２００７年文系第二問

次の文を読んで、後の問に答えよ。

つい十間ばかり前を歩いていた男が外套のはしを車にひっかけられて、ころりと地面に転がった。

私のそばを通っていた二人づれの娘さんが、アッとも、キャッともつかぬ声をあげて、一瞬手で顔を蔽（おお）った。が、そのときであった。通りの向う側に立っていた一人の男が、しごくひょうきんに、これはまた、へッ！ ころびやァがった、というような言葉をかすかに発するのを私は聞いた。

どうも日本では、他人の危険を目の前にして、やはり、キャッとか、アレッのほうが、はるかに評判がいいようである。他人の危険をそのまま己れの危険と感じ、胸のとどろきが直ちに同情の叫びとなり、ジェスチュアとなってあらわれるからであろう。それに反して、へッ！ ころびやァがったのほうは、どうも点数が落ちる。心が冷たいといわれる。非情と批評される。だが、果たして簡単にそんなものなのであろうか。私は妙に、へッ！ ころびやァがった、に心惹（ひ）かれるのである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

もちろん、腕一つのばせば、助け起こしてもやれる目の前の出来事だとか、目に見えて瀕死の重傷でも負ったというならば論外だが、いずれは十間も遠いさきの、どう焦ったところで手の貸しようもないこうした小椿事（ちんじ）、果たしてころびやァがったが冷たくて、アレッ！と顔を蔽うだけが温かい心なのだろうか。ヘッ！ころびやァがったは、いわば出来事と見る人との間の心の距離感の余裕から生まれる。アレッ！は、いってみれば(1)対象への自己没入である。日本人の欠点として、よくユーモアの不足ということがいわれる。いう意味は、日本人にはあまりにも自己没入型が多すぎるということなのではなかろうか。自己没入からはユーモアは生じない。

アメリカの心理学者ウィリアム・ジェームズは、たしか心の型を二大別して、「硬い心（タフ・マインド）」と「軟らかい心（テンダー・マインド）」とに分けていたように思う。「軟らかい心」は自己没入型である。主観的で、感傷的、センチメンタルで、悲観的だとたしか規定していたように思う。それに対して「硬い心」は、客観的で、理性的で、楽観的である。(2)ヘッ！ころびやァがったにもなるゆえん。

国民性的に見ても「軟らかい心」のせいか、すべて悲壮である。勝っても泣き、負けても泣く。雨と涙の感傷的歌謡曲ばかりやたらに流行（はや）る。ヒッ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「差異」と「類似」を攻略せよ！

トするメロディーは、由来まず短調にきまっている。いまの言葉でいえば、さしずめウェットなのだ。

がそうした湿りがちな気質の中で、私は川柳文学というものの「硬い心」を珍重したい。

伊丹の俳人鬼貫（おにつら）は「行水のすてどころなし虫の声」と、日本流ウェットを発揮している。だが、川柳子はもじっていう。「鬼貫は夜中タライを持ちまわり」と。そうだ、いかに秋の虫の音をいとおしむからといって、まさか夜通しタライを持ちまわっていたわけでもあるまい。捨てどころはあったにちがいないのである。そのいわば感傷的誇張が、川柳子のカンにピンと来たものにちがいない。

「起きてみつ寝てみつかやの広さかな」は、いうまでもなく加賀の千代女の句として伝わるものである。が、これまた川柳子はいう、「お千代さんかやが広けりゃ入ろうか」と。註解までもあるまい。

ギリシャの古詩人ホメロスに「オデュッセイア」と題する長篇叙事詩がある。主人公の武将オデュッセウスは、凱旋の帰途、海上に難船し、おまけに部下数名を怪物の餌食にされ、やっと海岸に漂いつく。そこで作者ホメロスは歌う。彼等はたらふく食った。そして満腹を感じたとき、はじめて不幸な仲間たちの運命を悲しんで泣いた、と。(3)空腹も忘れて悲しんだ、

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

などとは書いていないのである。

（中野好夫「多すぎる自己没入型」）

問一　傍線部（1）はここではどのようなことをいっているのか、説明せよ。

問二　傍線部（2）について、筆者は「ヘッ！ ころびやァがった」という言葉は、どのような態度から発せられたと考えているのか、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　傍線部（3）について、筆者はホメロスの表現をどのようなものとして受け止めているのか、文章全体の趣旨をふまえて、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講

論理構造分析①　講義のまとめ

「否定」のフレームワーク　①

「差異」のフレームワーク　②

「類似」のフレームワーク　③

に注意して、読み、書く。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　論理構造分析②　「条件法」「連言」「選言」

「条件法」のフレームワーク

① A　ならば　B（AはBである）→（命題）
② A　の条件（前提、本質、基本）は　B　である。
③ A　は常に（必ず、絶対）B
④ すべての　A　は　B　である。（全称文）
⑤ A　のためには　B　でなければならない。（AのためにはBである必要がある。）
⑥ B　でないならば　A　でない。
⑦ B　以外には　A　はない。
⑧ B　のときのみ（だけ、に限り）A
⑨ B　は　A　でありうる。（BにはAの可能性がある。）
⑩ B　してはじめて（してこそ）A

※　A　は　十分条件、B　は　必要条件

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「条件法」のルール

Ⅰ、「逆」＝本文「AならばB」→解答「BならばA」は間違い
Ⅱ、「裏」＝本文「AならばB」→解答「AでないならばBでない」は間違い
Ⅲ、「対偶」＝本文「AならばB」→解答「BでないならばAでない」は正解

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「連言」のフレームワーク

①　A　かつ　B
②　A　さらに、しかも、そのうえ、加えて、B　さえも
③　A　しかし、だが、けれど、B
④　A　だけでなく、のみならず　B　も
⑤　A　と（や）B
⑥　A　つつ、ながら、同時に、ともに、B
⑦　A　である　B　が存在する。（存在文）
⑧　一方　A　、他方　B　。

「連言」のルール

Ⅰ、「かつ入れ」＝　本文「A」、「B」→　解答「AかつB」は正解
Ⅱ、「かつ取り」＝　本文「AかつB」→　解答「A」は正解
＝　本文「AかつB」→　解答「B」は正解
※「AかつB」が「C」の必要十分条件のとき、「Cの説明」の解答としては「Aのみ」、「Bのみ」は間違いとなる
Ⅲ、「かつひっかけ」＝　本文「A」→　解答「AかつB」は間違い

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「選言」のフレームワーク

① A または B
② A あるいは B
③ A もしくは、B
④ A ないし（は） B
⑤ A か B

「選言」のルール

Ⅰ、「または入れ」＝ 本文「A」↓ 解答「AまたはB」は正解
＝ 本文「B」↓ 解答「AまたはB」は正解

Ⅱ、「または取り」＝ 本文「AまたはB。Aでない」↓ 解答「B」は正解
＝ 本文「AまたはB。Bでない」↓ 解答「A」は正解

Ⅲ、「またはひっかけ」＝ 本文「AまたはB」↓ 解答「A」は間違い
＝ 本文「AまたはB」↓ 解答「B」は間違い

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「条件法」と「連言」と「選言」を攻略せよ！

第四講　論理構造分析②　2001年前期第一問

次の文を読んで、あとの問に答えよ。

「画家は窓を通して自然を見るのではない。先輩や師匠の作品を通して見るのだ」

といったのは、美術史家として、また批評家として有名なイタリアの故リオネルロ・ヴェントゥーリである。美術の全歴史は、おそらくヴェントゥーリのこの一句のなかに、集約的に表現されている。むろん、この場合、「見る」ということは、絵画の表現様式の比喩であるばかりでなく、文字通り視覚的映像世界をも意味する。(1)人は「見る」ことすらも学ぶものである。逆にいえば、人は「先輩や師匠」がそう見たようにしか見ることはできない。われわれは、自分の家の窓から遠く広がる自然の景観を眼(ま)のあたりにする時、いわば嬰児(えいじ)のような捉われない眼で、ありのままに見ていると信じている。だがもしほんとうに嬰児の眼に写る世界をそのまま白日のもとにさらけ出すことができたとしたら、そこにはおそらくただ混沌しかないであろう。その混沌に秩序をあたえ、対象を明確に認識させるのは、ほか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

ならぬ「先輩や師匠」たちの「眼」なのである。

　絵画の世界において、ある表現様式がつねに固定して継続する傾向があるのは、そのためである。古代エジプト人たちは、ほとんど三千年ものあいだ、顔と下半身は横向きで上半身は正面向きという、われわれから見れば不自然な人間像を描き続けた。しかもその横顔には、ご丁寧に正面から見た眼が描かれているのである。エジプト人たちのこのような「不自然な」人間表現を、彼らの技術的未熟さのせいにするのはかならずしもあたらない。動物たちを描き出す時の彼らの写実的表現力は、その後の美術史上のどのような作品とくらべてもひけをとらないくらい見事なものだからである。とすれば、彼らが表面視と側面視とをごちゃまぜにしたような人間像を描いたのは、技術が拙劣だったからではなくて、事実そのように人間を「見て」いたからである。そして三千年もの長いあいだそのように「見て」いたのは、彼らがいずれも「先輩や師匠」たちの作品を通して人間を見ることを学んだからである。エジプト人たちのあの様式化された人間像は、実はそれなりにきわめて写実的なものだったといってもよいのである。

　このように先輩から後輩へ、師匠から弟子へと伝えられていった固定した様式は、伝統を形成する重要な要素である。しかし、実はそれだけでは伝統は生まれてこない。(2)伝統に歴史は必要であるとしても、歴史はそ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「条件法」と「連言」と「選言」を攻略せよ！

のまま伝統ではない。桑原武夫氏がかつて正当に指摘された通り、単に無意識のまま受け伝えられてきたものは、伝承と呼ばれるにふさわしいものであって、まだ伝統ではない。伝統は、それと意識されることによってはじめて伝統となる。古くから伝えられてきたものが一つのモデル、ないしは手本として意識された時に伝統というものになるのである。

したがって(3)伝統ということばにはつねに幾分か理想主義的な憧れとノスタルジーがこめられている。人は自分が現在とっぷりとそのなかにひたって少しも不自然と感じないものをあらためて意識することはない。古くから伝えられてきてほとんど生活の一部となっているものがあらためて強く意識されるのは、それが失われた時か、あるいは少なくとも失われようという危険にさらされている時である。つまり伝統は、ある意味では危機の時代の産物だといってもよいのである。

わが国において、美術における伝統が強く意識されるようになったのは、いうまでもなく、明治の変革期においてである。御一新は、美術のみならず、政治、経済、社会のあらゆる分野に新しい西欧的近代の輸入をもたらし、急激な変化を招いたが、美術の分野では、明治十年代の後半頃から、この極端な西欧化に対する反動が目立つようになり、やがて明治二十二年の東京美術学校創立に集約的に示されるような「復古主義」の時代を迎え

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

る。周知のように、創立当初の東京美術学校は絵画科は日本画しか認めず、当時ようやく少数の人びとのあいだに定着しかけていた洋画（油彩画）は完全に締め出されていた。そして教室も、日本画や木彫、工芸を教える必要上そうであったのであろうが、普通の学校教室とはがらりと変わって、畳敷きか板の間、あるいは平土間で、寒い時や膠(にかわ)を熔(と)かす必要がある時は、そこに焼物の大火鉢を持ち込むという具合であった。

明治二十年代に伝統の意識が急速に強まってきたのは、いうまでもなくそれ以前に伝統が失われそうな危機の時代があったからである。いやその時にはおそらく「伝統」という意識はなかったであろう。古いものが失われるかもしれないという事態が「伝統」という意識を生み出したのである。事実、明治九年に工部美術学校が設置されてから十五年（彫刻部は十六年）に廃止されるまでは、文字通り洋画家たちは我が世の春を謳歌(おうか)しており、逆に日本画家の方が食うや食わずの悲惨な生活を送っていた。絵が売れないので橋本雅邦が一つ一銭で三味線の駒をつくったり、狩野芳崖が安物の陶器の絵付けをしたりしてやっと糊口をしのいでいたというのは、この頃の話である。

（高階秀爾「近代美術における伝統と創造」より）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一

傍線部（1）「人は「見る」ことすらも学ぶものである」というのはどのような意味か、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　傍線部（2）「伝統に歴史は必要であるとしても、歴史はそのまま伝統ではない」というのはどのような意味か、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　傍線部（3）「伝統ということばにはつねに幾分か理想主義的な憧れとノスタルジーがこめられている」というのはなぜか、その理由を説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講

論理構造分析②　講義のまとめ

「条件法」のフレームワーク　①

「連言」のフレームワーク　②

「選言」のフレームワーク　③

に注意して、読み、書く。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　論理構造分析③「心情」「因果関係」

「文芸的文章」である「小説文」や「随筆文」には登場人物や筆者の心情を把握する問題があります。今回は心情把握問題の考え方を学びましょう。

心情把握問題

> 傍線部～とあるが、なぜか　　説明せよ。
> or
> 心情を

このような問題に対しても一定のアプローチをすることを心がけましょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

心情把握問題解法

――「心情」の解答プロセス

①「文構造」を分析する。
・文法的構造
・論理的構造

↓

②「ポイント」を把握する。
・原因 → 客観的事態や主観的事情
・心情 → ⊕心情や⊖心情
・結果 → 行動や反応や発言

↓

③「解答の根拠」となる文と対応させる。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅰ　単純な心情

原因　↓　心情　↓　結果

※　心情把握問題の基本形です。

※　この場合は心情が書いてないため、原因と結果から推測して心情を把握する問題になっていることが多いです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅱ　心情の変化

原因A　→　心情A　→　結果A　→　原因B　→　心情B　→　結果B

※　心情把握問題で一番有名な問題です。

※　心情Aから心情Bへの変化、そして変化の原因を三点セットで捉える必要があります。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅲ　結合原因の心情

原因A
＋
原因B
→ 心情 → 結果

※　原因Aだけ捉えて答えようとすると間違いになります。
※　原因Bは**「リード文」「会話文」「心中文」「過去シーン」**などにある場合が多いです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⅳ　心情の交錯

原因A → 心情A
＋
原因B → 心情B
↓
結果

※　一番分析が難しい問題です。

※　心情Aの原因が原因Bになっていたりと、原因の部分を入れ替えてしまうと間違いになります。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission

「心情」を攻略せよ！

第五講　論理構造分析③　２００２年前期第一問

次の文は、長く住んだ自分の家が取り壊される前日の「私」の姿を描いた小説の一節である。主人公の「私」は、戦後間もない時期にこの家を建て、会社を定年退職した現在も妻と二人でここに暮らしている。これを読んで、あとの問に答えよ。

毅夫（たけお）が初め私に提案したのは、今の家の建替えではなかった。彼は土地も家も売って、郊外へ移ろうと言ったのである。二番目の子供が生まれて、いかにも手狭になった社宅住まいを切上げたくなったのであろう。それには借金をして独力で建てるよりも、行くゆくはどのみち自分の物になる親の財産を活用した方が利口だと計算したのであろう。そうした考え方を私は咎（とが）めはしない。私だっていつかは彼の一家と同居する心積りはしていたのだから。（1）しかし、何事にも周到な彼が郊外分譲地のパンフレットを持ってやって来たとき、自分でも予期しない反撥心（はんぱつしん）が湧いた。恐しく吹きっ曝（さら）しの所だな、と丘陵を開拓した造成地の写真を見て、私は言った。それに夢見ヶ丘とはよく恥かし気もなく付けたものだ。まあ今は殺風景だけど

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

も、と毅夫は逆らわなかった。家を建てて木を植えればすっかり変りますよ、木を育てるのは、お父さん、楽しみじゃないですか。木が育つまで俺が生きてるわけがない、とは流石(さすが)に私は言わなかった。毅夫は用意したメモを見ながら、その夢見ヶ丘なる土地に住む利点を次つぎに挙げた。取り分け彼が強調したのは陽当りであった。きっと冬でも陽灼(ひや)けするよ、お父さん。

ものの百米とは離れていない荒川の堤防の上に高速道路が構築されて以来、私の家の環境は変ってしまった。騒音こそさほどではないが、日照が失われたのが、私には応(こた)えた。冬場は二時を過ぎると、高速道路の影が家を覆うのである。そうなってからしばらく、私は、陽の翳(かげ)る時刻が近づくと庭へ出て、高速道路の向うへ意外な早さで陽が隠れて行くのを、いまいましくみつめていたものだ。陽の色が消えると、俄(にわ)かに周りに寒さが立ちこめるような気がする。(2)私はわざと大きな嚔(くしゃみ)をして妻に笑われたりした。私がそんな風だったのを、毅夫も当然知っていたであろう。

毅夫の説明は、そのほかすべてについてそつがなかった。陽の当らぬ下町の低湿地から陽光あふれる郊外の高台へ。自分たち一家の利害が基本にあるとは言え、彼が精一杯に誠意を尽そうとしている事は疑いようがなかった。いい息子だな、と私は皮肉でなく言った。お前は息子で苦労しな

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission

「心情」を攻略せよ！

いで済んでるから羨しい、と同僚に言われた事が思い出された。確かに毅夫は出来がいいとは言えぬまでも、手間のかからぬ息子である。小学校から大学まで際立った成績は示さなかった代りに、中位以下に下りもしなかった。高校、大学の受験と就職試験に一度も失敗しなかったのは、彼が常に自分の能力で手の届く範囲を慎重に計量した結果である。お前みたいなのは一流にはなれんぞ、と酔ったまぎれに私が言ったとき、一流とか二流とかそんなこだわり方は時代遅れだ、と彼は答えた。私の自分の性格への秘かなこだわりを、彼は見抜いていたかも知れない。

なるべく急いで検討してみて下さい、と毅夫はパンフレットや契約説明書を私の方へ押して寄越した。その必要はないよ、と私は押返した。この家を売る気はないからね。ここで曖昧な態度を示してはいけない、と私は思った。毅夫の指図は受けないという私の意志が、語気を通して伝わるように喋ったつもりであった。

それからは紆余曲折があった。妻が間に立った。妻は毅夫の話を私より先に聞いて、内心私の賛成を期待していたらしい。どうせあたしの方が後に遺ってあの子の世話になって暮すのだから、あの子の気に入らない事はさせたくない、と言った。私は黙っていた。妻は毅夫の社宅へ泊りがけで出掛け、今の家を壊して、跡地に二世帯が階上階下に分れて住める家を

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

建てる案を、大凡の費用分担まで含めて決めて来た。いいだろう、俺だって何もお前と二人きりでいたいわけじゃない、と私は言って、これでまた人に羨まれる種が増えた、と思った。気の優しい息子の家族と暮す安定した老後。まさにその通りには違いない。

　世間の眼から見れば、最初の毅夫の主張は筋の通った常識的なものだったろう。しかしそれに反対した私の言い分も、あながち無法だったとは思わない。そしてその中間を取って、現実的な案が立てられ、実行に移された。私も、これより良い解決策はなかったと思っている。私と息子と双方に対する妻の気遣いには、感謝している。(3)それなのに、自分の持ち物を無体に取上げられたような虚しさに加えて、憤りまで湧くのは何故だろう。

　今日、朝の間は出掛けるつもりはなかった。残る一日を古い家の中で落着いて過したい気持もあった。だがいつもと同じに朝食を済まし、二階の座敷に座って、知人の好意で定期的に廻してもらっている翻訳の仕事をぽつぽつやっているうちに、居たたまれなくなって来たのである。黒ずんで所どころが反り返った杉板の天井や、把手の廻りに手脂の染みが付いた北窓の硝子障子、箪笥を退けた痕がくっきりと青白く遺っている畳。今日限りで消えてしまうものが、私に向って群がり寄って来るような気がした。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission

「心情」を攻略せよ！

私がもう少し昔者であったなら、家霊に責められていると感じたであろう。私は追われるように階下へ降り、台所で片付物をしている妻に、飯を食いに銀座へ出ないか、と声をかけた。あたしは用があってそれ所じゃない、と素気ない返事が返って来た。それにこんな日は、あなた一人の方がいいんじゃないの、その代り、帰りにデパートで晩の物を見繕って買って来て下さい。こんな日、と妻は微かに笑いを含んで言った。私が一人で感傷に耽（ふけ）りたいのだとでも思ったのだろうか。まあ、それだって構わない。

（高井有一「半日の放浪」より）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）について、「私」はなぜ、「自分でも予期しない反撥心」を感じたのか、説明せよ。

問二　傍線部（2）の、「私」と「妻」の気持ちについて、それぞれ説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　傍線部（3）について、「私」の気持ちはどのようなものか、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講

論理構造分析③　講義のまとめ

心情を捉えるためには　①　関係に注意して読む。

「心情」のフレームワーク

②

③

④

⑤

に注意して、読み、書く。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS

本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ｐａｒｔ２　最新過去問研究編

このＰａｒｔ２では実践的な試験での解答法を学びます。２０１４年から２０１５年の２年分の京大の過去問を解くことで、試験時間内に合格点を取る方法を身につけましょう。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
３０分で１８／３０点を突破せよ！

第六講
過去問実践演習　２０１４年理系第二問

次の文を読んで、後の問に答えよ。

嵐にゆれ動いている木や、波立っている海を見て、あの木のゆれ方はあまり良くないとか、波の形がなっていないとか批評する人はいない。同様に優れた作品は、作家の手つきが見えないままに、読者をのめり込ませる。傑作はつらなり合うものが動いて、吹く風に似た音をたてる。

創作という言い方があるが、作家は何もないところから何かを創り出すわけではない。自分の力で創り出すというよりは、思わず知らず、えたいの知れない力に押されてそうなってしまう時、その作品は比較的まともなものである。

また、べつの言い方をすれば、創作とは、何かを創り出すというよりは、そこにもともと埋まっているものを掘り出す作業なのだ。もともとそこにないものは、いくら一生懸命掘っても突き当たらないし、下手な掘り方をすれば、像の形が欠けたり壊れたりすることもある。

つまり、自分の掘り当てたい像はどこに埋まっているか、また、どのよ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

うな掘り方をすればよいのか、というようなことが、作家の作業なのだろう。

　わたしはいつのころからか、文学は、生活の中にしか埋まっていないと思うようになった。(1)生活の中にかかる虹の橋づめに埋まっている金の壺がわたしの文学である。

　恋人たちが輝く目とバラ色の頰でほほ笑むとき、彼らは虹の橋づめに立っているのだし、うずくまってすすり泣く幼児の足の下にも金の壺は埋まっている。怒る人、闘う人、不可思議な衝動にかられて立ちすくんでいる人、そうした人の背後には必ず虹の橋がかかっている。

　この人間社会で、言いたいことを言えずに、口ごもって生きている人びとが、何かのときにふと洩（も）らしてしまう言葉は無数の水滴になり、太陽の光が当たると虹の橋になるのだ。

　わたしは、生きているうちにめぐり会った人びとの呟（つぶや）いた言葉を拾い上げて、小説を書いているから、めぐり会った人びとはわたしの文学世界を築いてくれた恩人である。作品は自分の力で創り出すわけではないとは、そういうことだ。

　自分を文学の専門家だと思い込んでいる人たちの言葉は、ほとんど、わたしの心を打たない。文学に限らず、どんな道でも同じだと思うが、その

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
３０分で１８／３０点を突破せよ！

道で一級の人たちは、自分をその道の専門家だとは思っていない。一級の人は、自分のやっていることを、自分の人生だと思い、話をするときは、自分の人生の話をする。

彼は、彼のまわりにうごめいているものをじっと見つめ、「自然」の中にひそんでいるものを自分自身の中に見つけようとする。

芸術家は独創的であらねばならない、といった言い方があるが、これは浅薄に使われやすい言葉である。たとえば、昼間は眠って、夜目ざめて仕事するのを独創的だと思ったりする。それはただ、珍しい習性が、なんらかの理由でつけられてしまっただけの話である。この習性をこっけいで悲劇的だと思うのは芸術家の感性だが、独創的だと思う人は、芸術家の素材となるに適した人である。

(2)芸術家にはこの種の独創性は必要ではない。必要なのは「自然」が内包する生命である。そこにある生命を掘り出すのが芸術家で、芸術家は生命を無から創り出すわけではない。

わたしがまだ世間に作品を発表していないころ、そして、わたしが文学についてひと言も語らないころ、わたしを「自然」から何かを掘り出すことのできる人間として扱ってくれた二、三の友人がいたが、そういう人たちは真正の芸術家だった。つまり、彼らは、独自の作品世界ともいうべき

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

ものを持っていた。「自然」を映した彼らの生活そのものが芸術品だった。

彼らの人生にまつわる独特の表現の中には、それをそのままテープにとっておけば、立派な文学作品になるものがあった。そして、わたしは今でもそれらの話を思い出して、つづり合わせて小説を書いているに過ぎない。

作家として暮らし始めると、人びとの何げない言葉を聞く機会が少なくなったような気もしている。

小説に書いてもらいたくてする人の話や、書かれまいとして用心している人の話は、あまり面白くないのが普通である。

そういう話には、吹く風の音がない。また見上げても、決して虹はかかっていない。もちろん、金の壺も埋まっていない。　（大庭みな子「創作」）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）はどのようなことを言っているのか、説明せよ。

問二　傍線部（2）はどのようなことを言っているのか、説明せよ。

問三　作者が本文中で用いる「自然」はどういうものか、芸術家との関係を踏まえ、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一

二

三

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
４５分で３０／５０点を突破せよ！

第七講　過去問実践演習　２０１４年文系第一問

次の文は、著者が一九四一年に満州（現在の中国東北部）へ派遣され、四五年の日本の降伏後にソビエト連邦軍に抑留されてのち、四九年に重労働の判決を受けた前後を回想したものである。これを読んで、後の問に答えよ。

　起訴と判決をはさむほぼふた月を、私は独房へ放置された。とだえては昂（たか）ぶる思郷の想いが、すがりつくような望郷の願いに変ったのはこの期間である。朝夕の食事によってかろうじて区切られた一日のくり返しのなかで、私の追憶は一挙に遡行した。望郷の、その初めの段階に私はあった。この時期には、故国から私が「恋われている」という感覚がたえまなく私にあった。事実そのようにして、私たちは多くの人に別れを告げて来たのである。そのとき以来、別離の姿勢のままで、その人たちは私たちのなかにあざやかに立ちつづけた。化石した姿のままで。

　弦（つる）にかえる矢があってはならぬ。おそらく私たちはそのようにして断ち切られ、放たれたはずであった。私をそのときまでささえて来た、遠心と

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

求心とのこのバランスをうたがいはじめたとき、いわば錯誤としての望郷が、私にはじまったといっていい。弦こそ*矢筈（やはず）へかえるべきだという想いが、聞きわけのない怒りのように私にあった。

この錯誤には、いわば故国とのあいだの〈取り引き〉がつねにともなった。私は自分の罪状がとるにたらぬものであることをしいて前提し、やがては無力で平穏な一市民として生活することを、くりかえし心に誓った。事実私が一般捕虜とともにそれまですごして来た三年の歳月は（それは私にとって、事実上の未決期間であった）、市井の片隅でひっそりといとなまれる、名もない(ア)ぼんような生活がいかにかけがえのないものであるかを、私に思いしらせた。しかもこの〈取り引き〉の相手は、当面の身柄の管理者であるソビエト国家ではなく、あくまで日本――おそらくそれは、すでに存在しない、きのうまでの日本であったのであろうが――でなければならなかったのである。

私たちは故国と、どのようにしても結ばれていなくてはならなかった。しかもそれは、私たちの側からの希求であるとともに、〈向う側〉からの希求でなければならないと、かたく私は考えた。望郷が招く錯誤のみなもとは、そこにあった。そして私が、そのように考ええた時期は、海は二つの陸地のあいだで、ただ焦燥をたたえたままの、(イ)かと的な空間として

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
４５分で３０／５０点を突破せよ！

私にあった。その空間をこえて「手繰られ」つつある自分を、なんとしてでも信じなければならなかったのである。

告訴された以上、判決が行なわれるはずであった。だが、いつそれが行なわれるかについては、一切知らされなかった。独房で判決を待つあいだの不安といらだちから、かろうじて私を救ったものは（ウ）きが状態に近い空腹であった。私の空想は、ただ食事によって区切られていた。食事を終った瞬間に、一切の関心はすでにつぎの食事へ移っていた。そしてこの、〈つぎの食事〉への期待があるかぎり、私たちは現実に絶望することもできないのである。私はよく、食事の直前に釈放するといわれたら、なんの未練もなく独房をとび出すだろうかと、大まじめで考えたことがある。

なん日かに一度、あたりがにわかにさわがしくなる。監視兵がいそがしく廊下を走りまわり、つぎつぎに独房のドアが開かれ、だれかの名前が呼ばれる。足おとは私のドアをそのまま通りすぎる。「このつぎだ。」私は寝台にねころがる。連れ去られた足音は、二度と同じ部屋に還ってはこない。そして、ふたたび終りのない倦怠と不安のなかで、きのうと寸分たがわぬ一日が始まる。どこかの独房で手拍子をうつ音が聞こえる。三・三・七拍子。日本人だという合図であり、それ以上の意味はなにもない。

望郷とはついに（1）植物の感情であろう。地におろされたのち、みずか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

らの自由において、一歩を移ることをゆるされぬもの。海をわたることのない想念。私が陸へ近づきえぬとき、陸が、私に近づかなければならないはずであった。それが、棄民されたものへの責任である。このとき以来、私にとって、外部とはすべて移動するものであり、私はただ私へ固定されるだけのものとなった。

四月二十九日午後、私は独房から呼び出された。それぞれドアの前に立ったのは、いずれもおなじトラックで送られ、おなじ日に起訴された顔ぶれであった。員数に達したとき、私たちは手をうしろに組まされ、私語を禁じられた。

私たちが誘導されたのは、窓ぎわに机がひとつ、その前に三列に椅子をならべただけの、およそ法廷のユーモアにふさわしい一室であった。椅子にすわり、それが生涯の姿勢であるごとく、私たちは待った。ドアが開き、裁判長が入廷した。若い朝鮮人の通訳が一人(彼もまた起訴直前にあった)。私たちは起立した。

初老の、実直そうなその保安大佐は、席に着くやすでに判決文を読みはじめていた。私が立った位置は最前列の中央、判決文は私の鼻先にあった。ながながと読みあげられる、すでにおなじみの罪状に、私の関心はなかった。全身を耳にして私が待ったのは、刑期である。早口に読み進む判決文

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission ４５分で３０／５０点を突破せよ！

がようやく終りに近づき、「罪状明白」という言葉に、重労働そして二十五年という言葉がつづいたとき、私は耳をうたがった。ロシヤ語を知らぬ背後の同僚が、私の背をつついた。「何年か」という意味である。私は首を振った。聞きちがいだと思ったからである。

それから奇妙なことが起った。読み終った判決文を、おしつけるように通訳にわたした大佐は、椅子の上に置いてあった網のようなものをわしづかみにすると、あたふたとドアを押しあけて出て行った。大佐がそのときつかんだものを、私は最初から知っていた。買物袋である。おそらくその時刻に、必需品の配給が行なわれていたのであろう。この実直そうな大佐にとって、私たち十数人に言いわたした二十五年という刑期よりも、その日の配給におくれることの方がはるかに痛切であった。ソビエト国家の官僚機構の圧倒的な部分は、自己の言動の意味をほとんど理解する力のない、このような実直で、善良な人びとでささえられているのである。

つづいて日本語で判決が読みあげられたとき、私たちのあいだに起った混乱と(エ)きょうこう状態は、予想もしない異様なものであった。判決を終って＊〈溜(たま)り〉へ移されたとき、期せずして私たちのあいだから、悲鳴とも怒号ともつかぬ喚声がわきあがった。私は頭から汗でびっしょりになっていた。監視兵が走り寄る音が聞こえ、怒気を含んだ顔がのぞいたが、

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

「二十五年だ」というと、(2)だまってドアを閉めた。

　故国へ手繰られつつあると信じた一条のものが、この瞬間にはっきり断ちきられたと私は感じた。それは、あきらかに肉体的な感覚であった。このときから私は、およそいかなる精神的危機も、まず肉体的な苦痛によって始まることを信ずるようになった。「それは実感だ」というとき、そのもっとも重要な部分は、この肉体的な感覚に根ざしている。「手繰られている」ことを、なんとしてでも信じようとしたとき、その一条のものは観念であった。断ち切られた瞬間にそれは、ありありと感覚できる物質に変貌し、たちまち消えた。(3)観念が喪失するときに限って起るこの感覚への変貌を、そののちもう一度私は経験した。観念や思想が〈肉体〉を獲得するのは、ただそれが喪失するときでしかないことの意味を、いまも私はたずねずにいる。意味が与えられるとき、その実感がうしなわれることを、いまもおそれるからである。あっというまに遠のいて行くものを、私は手招いて追う思いであった。

　四月三十日朝、私たちは*カラガンダ郊外の第二刑務所に徒歩で送られた。刑務所は、私たちがいた捕虜収容所と十三分所のほぼ中間の位置にあった。ふた月まえ、私が目撃したとおなじ状態で、ひとりずつ衛兵所を通って構外へ出た。白く凍てついていたはずの草原（ステップ）は、かがやくばかりの緑に

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
４５分で３０／５０点を突破せよ！

変っていた。五月をあすに待ちかねた乾いた風が、吹きつつかつ匂った。そのときまで私は、ただ比喩としてしか、風を知らなかった。だがこのとき、風は（オ）かんぺきに私を比喩とした。このとき風は実体であり、私はただ、風がなにごとかを語るための手段にすぎなかったのである。

（石原吉郎「望郷と海」より）

注（＊）

矢筈＝矢の端の、弓の弦を受ける部分。

〈溜り〉＝捕虜を収容している空間のことをさす。

カラガンダ＝中央アジア北部、カザフスタンの地名。当時はソビエト連邦に属していた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（ア）～（オ）のひらがなを漢字に改めよ。

問二　傍線部（1）はどういう意味か、説明せよ。

問三　傍線部（2）で、監視兵はなぜそのような態度をとったのか、説明せよ。

問四　傍線部（3）はどのようなことを言っているのか、説明せよ。

問五　二重傍線部はどのようなことを言っているのか、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一

ア

イ

ウ

エ

オ

二

三

四

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

五

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
３０分で１８／３０点を突破せよ！

第八講　過去問実践演習　２０１５年理系第二問

次の文を読んで、後の問に答えよ。

報道は人間の生理的な必要である。しかもこの必要は近代になってから日をおってその強度を増している。それには色々な理由が考えられる。第一に経済的にも政治的にも文化的にも世界の諸国が緊密に結び合され、そのために世界の片隅に起こった事件がやがて各個人の生活に影響を及ぼすようになって来たからであろう。吾々から遠く離れたところで勃発した戦争が、いつ吾々自身を戦場に立たせるか判らない。外国の穀物の産額が吾々の生活に深刻な変化を惹（ひ）き起こすことも決して稀ではない。第二に社会の事情が甚だしく複雑性を加え来っていることが考えられる。或（あ）る国の状態が他の国の民衆の生活に影響を与えると言っても、それはいつも直接的なものばかりではない。両者の間には他の幾つかの国の状態と利害とが立っていて、そこを通過する影響に常に新しい方向を与えようとしている。穀物の産額の増大が必ず価格の低落を結果すると言うことは出来ない。一国内部にして見ても、そこには神の如き眼を以てしなければ到底その全貌を

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

捕えることが出来ないような複雑な関係が横たわっている。第三に社会の変化と運動とがその激しさを加えて来たことを指摘しよう。昔の学者は動く社会と動かぬ社会とを区別した。前者はヨーロッパの社会のことであり、後者はアジアの社会のことである。これはヨーロッパが夙（つと）に資本主義を確立していた時に、アジアが未だ封建主義に立っていたからである。資本主義社会は本質的に動く社会であり不断の変化を伴う社会である。アジアも今は動く社会になっている。もしも環境が動き変ずるものでないとしたら、吾々は報道を生理的必要と見ることは出来ない。父祖の代から行われている習慣に頼って生きて行くことが出来るはずだからである。動く社会は報道を必要とする社会である。第四に近代社会においては各個人が自分で生きて行かねばならぬということが注意されねばならぬ。昔は誰かが多くの人々に代って環境を知り適応の道を学び、他の人々はその後について歩んで行けばよかった。しかし今は個人主義がいかに非難されようとも、各人が自己の運命の主人にならねばならぬ。自分の幸福は自分で喜び、自分の不幸は自分で嘆かねばならぬ。自ら生きようとするものは、自ら環境に適応せねばならず、自ら環境について知らねばならぬ。(1)現代の人間が報道を欲するのは、その当然の権利に基づいていることである。

　現在の報道、交通、通信の機関は高度に発達した技術を基礎として立っ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
３０分で１８／３０点を突破せよ！

ている。外界の出来事を知り且つ知らせるためには、眼や耳が吾々の身体に具（そなわ）っている。単純な社会生活にあってはこの眼や耳で十分に事が足りたのである。人間の生活を動かすものは主として眼や耳の届く場所から生じていたからである。封建社会においても日常の会話で問題となる人物は、通常これを語る人々が既にその容貌を知り、その言葉と動作とに接したことのある人間であった。ところが現代においては人間の生活に作用を及ぼすものが、およそ眼や耳の届かぬ遠隔の地に住んでいる。現在では眼や耳、総じて人間の感覚器官は自然のままの形態では最早（もはや）環境への適応に役立つことが出来ない。感覚器官は補足されねばならぬ。延長されねばならぬ。発達した技術的装置はあたかも新しい眼であり耳である。技術の進歩は何人も知るように極めて迅速である。だがこの迅速に進歩してやまぬ技術がまず第一に摂取され応用されるのは、軍事的領域を除いたら、恐らくこの報道や通信の領域であろう。電信、電話、ラジオ、新聞、そういうものは吾々の感覚器官の延長であり補足である。というよりも既に今日では吾々の感覚器官そのものになっていると言えるかも知れない。健全な眼や耳を持っているものは、自分が眼や耳を持っているという特別の意識を欠くのが普通である。それ等のものがはっきりと意識に上って来るのは、かえって何か故障の生じた場合である。それと同様に、新聞が毎朝配達され、ラ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

ジオが朝から晩まで喋(しゃべ)っているという状態は、今日の吾々にとって特にはっきりと意識する必要のない当り前の生活である。吾々はそれで安心して生きて行くことが出来るのである。

　ところで吾々の感覚器官の延長であるようなものが突然その機能を停止するか、またはその機能を甚だ不十分にしか発揮せぬか、或(あるい)は――畢竟(ひっきょう)同じことであろうが――十分に機能を発揮していても吾々がそれから遮断されるというような場合を考えて見よう。吾々が急にこういう状態の中に移されたとすると、その時吾々の心は何事でも自由に書き記すことの出来る白紙になってしまう。しかし白紙という表現は余り適切なものでないであろう。蓋(けだ)しこの白紙は暗い底知れぬ不安によって一色に塗られているからである。それは眼や耳が急にその機能を果さなくなったのと同じであろう。(2)そうではない。それよりももっと不安なものである。眼や耳に故障が起こった時、その原因は一般に自分の身体の中にある。医者へ駈(か)けつければ癒るであろう。ところが感覚器官の補足乃至(ないし)は延長がその機能を営まなくなった時、その原因は勿論自分の身体の内部などにあるのではない。自分の外に、しかも今となっては容易に知ることの出来ないところにあるのである。自分でどうすることも出来ないような強力なものが、その原因

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
３０分で１８／３０点を突破せよ！

となっているのであろう。吾々が眼隠しをして往来を歩かせられた場合、「水溜りがある！」と言われると、もう一ヶ月も好天気が続いているということを考える暇もなく、いやたとえ考えたとしても思わず足をとどめるであろう。これと同じように報道、通信、交通がその機能を果さなくなった時、社会の大衆は後になっては荒唐無稽として容易に片づけることの出来るような言葉もそのまま受け容れるのであって、(3)どんな暗示にも容易にひっかかってしまうものである。

（清水幾太郎『流言蜚語』より。一部省略）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）のように筆者が考えるのはなぜか、説明せよ。

問二　傍線部（2）はどういうことを言っているのか、説明せよ。

問三　傍線部（3）のような事態が起こるのはなぜか、本文に即して答えよ。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一

二

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
４５分で３０／５０点を突破せよ！

第九講　過去問実践演習　２０１５年文系第二問

次の文を読んで、後の問に答えよ。

親しくした人たちがどんどん死んで行く。年々歳々それが頻繁になるのは、こちらが人並よりいくぶん永く生き残つてゐる報ひとして甘受しなければならぬ自然の理ゆゑ、ウンもスンもないわけ。とはいへ、「死」といふ、この上なく厳粛な事実でも、永年に亘り、夥しい数に直面するうちには、馴れッこになる、といふか、麻痺してしまふ、といふか、あのズシンと重い胸への響きにいくらかづつの緩みがついて来る……。ましてや、他家のはもとより、わが家の子孫であらうと、誕生を知らされての喜びなどは、正直なところ、もはやゼロにちかい。かういふ、老耄と同義語の不感症を、さも、生死の一大事を超越したかのやうに勘違ひはしないにしても、しかし時折、われながら「非人情」になつたものだ、と思ふことはある。生を祝ぎ、死を悼むのは、古今東西を通じての「人情」なのだから。……「非」か「不」か。(1)「不」は感心しないが、「非」なら仕方なからう、といつた風な、一種怠慢な考へ方だけれど……。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

そんなつまらぬ詮索はさて措き、実際問題として、ここ数年来の、親しくした人たちの死に方と来たら、「ちつと遠慮したらどうだ」とボヤキたくなるくらゐだ。「それは、お前が、あんまり大勢の人たちと仲よくした報ひで、自業自得ぢやないか」といはれて、「ああなるほどさうか」……まさかそれほどでもないし、(2)第一、相手は死神だ、遠慮などさせてくれるものか。

概して云つて、親しい者の死に際会する場合も稀な筈の、少・青年時代、まともに、すなほに、胸いつぱいに受け止める「死」の痛撃、……「死」の周囲には、不思議にすなほな空気が立ちこめるものだが、……あの、再び起ちなほれまい、と思ふほどの、あの、文字どほりのデッド・ボールをこの年齢になるまで、満身に浴びとほしに、生きて来られるものかどうか。(3)万が一にもさうであつたとしたら、私は超人だ。万年でも横綱が張りとほせる。

さうかといつて、死んだ人の死によつて、こちらの心身に受ける傷害で寿命を縮められてたまるか、といふやうな、打算的な顧慮から、なるべく控へ目に悲しんで置かうなどと、そんな器用なまねは、いかに世智辛くなつた今の世の中でも、ちよつとやり手があるまい。どだい意識にのぼらず、なほさら、さういふ思議は用ゐないでも、あらゆる生物に共通の、みづか

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
４５分で３０／５０点を突破せよ！

ら衛（まも）る本能の然らしむる所で、是非の範囲外だ。誰でもが大威張りで「別に工夫なし」と断言できる場合だ。

　ついこの数日来、*広津和郎君、*野田高梧君と続けさまに急逝の報を受けた。時間に縛られることのない、たまにあればなんとかかんとかそれをひッぱづしてしまふ、早くいへば「怠け者」で「閑人（ひまじん）」の私、ズシンと重い胸への響きも、まるで名鐘の余韻の如く、清らかに、静けく、遠く、遥けく薄れて行くに任せて、いつまでも黙つてゐられる。

　親しくした歳月の長い短いなどには関係なく、あの日のこと、あの時のこと、……私の性分のせゐか、必ず具象的に、……その場その場の光景で眼前に髣髴（はうふつ）として来る。しかもどれ一つとして楽しく愉快な想ひ出でないものはない。告別式の祭壇の前で読まれる弔詞の多くがさうであるやうな、故人の業績とか、人と成りの美点とか、さういう抽象的な面（めん）は少しも浮んで来ない。そのうち、「ズシンと重い胸への響き」など、あとかたもなく消え失せてしまひ、例へば、広津君の、まぬけな自分の失敗を、まるでひとごとのやうにくッくと可笑しがる、あの酸ッぱいやうな笑ひ顔とか、野田君の、自己流踊りで、ここぞとばかり片足で立つて見せるつもりが、ひよろけかかつたりする様子とか、その他等々が、瞑（まじろ）がない目の前の絵となつて現れたとすれば、(4)<u>ニヤニヤと、私の頬の肉はうごめきだすだらう。</u>

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

そこを糞真面目な男が見たら、「なんだ、友達の死を楽しんでゐやアがる。怪しからん奴だ」と怒号するかも知れず、歯に衣をきせぬ女だつたら、「いやアねえ、いい年齢をして、思ひ出し笑ひなんかして。みつともないわよ」と冷笑を浴びせることだらう。

こんな風に、死んで行つた人たちとのつきあひで、楽しかつたこと、嬉しかつたことなど、特に選ぶのでもなんでもなく、おのづとさういふのばかりが思ひ出されるといふのも、前にいつた自衛本能の作用に違ひない。若い頃だつたら、厳粛な「死」を冒瀆するものだ、とか、友情を裏切る軽佻だ、とか、そんな反省、自責に苛まれたかも知れないが、(5)いつかさういふものとは、きれいさつぱりと手が切れてゐた。

この安らぎ、……ありがたいことである。

（里見弴『私の一日』より）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
４５分で３０／５０点を突破せよ！

注（＊）

広津和郎＝小説家、文芸評論家。代表作に『神経病時代』『松川裁判』など。一九六八年九月二十一日没。

野田高梧＝脚本家。『東京物語』をはじめ小津安二郎の映画のシナリオを数多く手がける。一九六八年九月二十三日没。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）はどのようなことを言っているのか、説明せよ。

問二　傍線部（2）はどのようなことを言っているのか、説明せよ。

問三　傍線部（3）はどのようなことを言っているのか、説明せよ。

問四　傍線部（4）のように筆者が思うのはなぜか、説明せよ。

問五　傍線部（5）を踏まえて、筆者が親しい人の死をどのように受け止めるようになったか、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一

二

三

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四

五

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
４５分で３０／５０点を突破せよ！

第十講　過去問実践演習　２０１５年文系第一問

次の文を読んで、後の問に答えよ。

英語には“To cut a long story short”（かいつまんで話すと）とか、“Please make your story short.”（手短かに言って下さい）とかいう言い回しがあるらしい。日本語の感覚からすると身も蓋もないような言い方であるが、それだけ明快でもある。

しかし、(1)<u>ただ長い物語を短くしたものが短編ではない。</u>*サローヤン式に言うならば、鯨をいくら細かく切り刻んでも鰯（いわし）にはならない、それは鯨の切り身である。短いというのは、話の長短よりもむしろ文章の性質から来る。書き出しの一行が、あるいは一節がその作品のスタイルを決定するとよく言われるが、十枚で完結すべき物語はすでにその分量に相応した文章の調子を持っている。調子というところを呼吸、リズム、間合い、密度等々、いろいろ好きなように言い換えてもいい。「汝のストーリーを短くせよ」と言われなくても、それ以上長くも短くもなりようがないのが作品の正しい寸法である。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

短編では、「この物語を始める前に」だの、「先刻もちょっと触れておいたが」だの、「これは余談であるが」だのと悠長なことはやっていられない。長編の読者は途中で少しぐらい注意力が眠り込んでも、作者がそのつど揺り起こしてくれるから安心であるが、短編はそれができない。説明や注釈にも頼れない。となると、残るはイメージしかない。具体的な物の形や印象を、手早く読者の脳裏に焼きつけなくてはならない。

*チェーホフが、彼に恋した作家志望の人妻アヴィーロワに語ったという「生きた形象から思想が生まれるので、思想から形象が生まれるのではない」という言葉は有名である。長編と短編を器用に書き分けている(2)<u>現代イタリアの作家モラヴィアが、短編を抒情詩に近いとし、長編を評論や哲学論文になぞらえているのもその辺を衝(つ)いたものであろう。</u>

もっとも、私のこういう言い方は実は本末転倒で、短編の作者はもともとイメージで語るのが得意なのだ、その反対は苦手なのだ、と言うほうが本当かもしれない。彼の書くものが短いのは、イメージというものはそうそう引き伸ばせないからである。ルナールなどは、「十語を超える描写はもうはっきり目に見えない」と極端なことを言っている。

イメージという言葉を言い替えようとすると、どうもぴったり行かなくて不便である。影像、映像、形象、物の姿、心象などと並べてみるが落ち

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
４５分で３０／５０点を突破せよ！

着かない。とにかく網膜にうつるものも、心に浮かぶものも、ともにイメージであろう。絵や写真やテレビの画面もイメージであり、フランス語で「イメージの狩人」といえば報道カメラマンや映画監督のことでもある。

一八九〇年代、青年国木田独歩が行く先々で自然の美にひたっていたちょうどその頃、フランスではルナールが故郷の田園を再発見しつつあった。彼の文章の極致を示す『博物誌』のプロローグが「イメージの狩人」と題されている。「彼」は朝早く起きて、一日野づらや川辺や林の中を歩き回り、いたるところでイメージを採集する。そして、日が落ちると家に帰って、明かりを消し、眠る前に長いことかかってそれらを反芻(はんすう)する。

「イメージは、思い出すままに、素直によみがえる。一つが別の一つを呼び覚まし、そうして燐光(りんこう)を発するイメージの群がりが、新しくどんどん増え広がって行く。ちょうど、一日じゅう追い散らされていた*鷓鴣(しゃこ)のむれが、危険も去って夕べの歌をうたい、畑のくぼみでお互いに呼び交わしているようなものだ。」

田園風景にことよせた一つの喩えであるが、自分の文章はこんなふうにして生まれるのだと言っているのであろう。作家の目はレンズであると同時に対象を捕らえる網である。（3）<u>文章でも写生ということがよく言われるが、その喩えはむしろ誤解を生みやすい。</u>書くためには記憶というフィ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

ルターと、回想できるようになるまでの十分な時間が必要である。

　ルナールで最も知られている＊『にんじん』は、それ自体がごく短い短編である章を五十近く並べたもので、筋といってはあまりない。初め小学生程度だったにんじんが、最後には高校生ぐらいになっているのが見届けられる。子供は放って置いても大きくなるのだから、これくらい変哲もない話はない。ルナールは二十四歳で十七歳のパリジェンヌと結婚し、奥さんは翌年彼の郷里で長男を生む。その際、実家の母親が愛妻につらく当たるのを見ているうちに、自分の子供時代のことを少しずつ思い出して行ったらしい。早くも次の年には、いずれ『にんじん』に収まる話をいくつか雑誌に発表している。

　その第一話『めんどり』は、この本を一度でも読んだ人、読みかけた人なら、あの風変わりな＊ヴァロットンの版画の挿絵とともにすぐに思い出されるであろう。にんじんが母親に鶏小屋の戸を閉めにやらされ、寒いのと怖いのとで震えながら闇を突っ切って行き、無事任務を果たして凱旋の気分で戻るが、誰にも褒めてもらえない。どころか、母親に「これから毎晩、お前が閉めに行くんだよ」と言われる。

　この章は長編小説ならば満を持して書き起こすところであろう。だが、『にんじん』という作品は今も言ったように、あちこちに書いた小品の寄

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
４５分で３０／５０点を突破せよ！

せ集めである。『めんどり』以前に書いたものすら入っていて、全然執筆順ではない。作者が巻頭には次の『しゃこ』でも、その次の『犬のやつ』でもなく、是非ともこの『めんどり』を配したいと考えたのは、(4)彼一流の計算があってにちがいない。

ルナール自身は『にんじん』を「不完全で、構成のまずい本」と言っているが、それでも『にんじん』一巻が『めんどり』で始まるのはいかにも適切で、作者のアレンジの妙であり、かつまた読者への親切である。それは一編の挿話でありながら、要領のいい人物紹介を兼ねている。そればかりか、各人物のこの物語における位置や役割や相互の関係といったものを一挙に示す、わかり易い見取り図にもなっている。しかも、抜け目のない作者は只(ただ)の一語も紹介や説明の労をとるわけではない。人物一人一人に、いわば順番に自己紹介をさせるだけである。何によってかといえば、会話によってである。いきなりもう戯曲のような書き方である。

小説の描写というと、われわれはとかく風景描写とか心理描写とかを考えて、会話も描写であることを忘れがちである。しかも、会話ぐらい直接的、具体的、即効的にその人物を表現してのけるものはない。初対面で予備知識がなくても、口のきき方ひとつで相手のことがわかるようなものである。ルナールがこういう書き方を選んだのは、会話こそ自分の最強の武

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

器であることをよく心得ていたからであろう。

（阿部昭『短編小説礼讃』より）

注（＊）

サローヤン＝二十世紀アメリカの小説家、劇作家。

チェーホフ＝十九世紀ロシアの小説家、劇作家。短編の名手として知られる。

鶉鴣＝キジ目キジ科の鳥のうち、ウズラとキジの中間の体形をもつ一群の総称。

『にんじん』＝ルナールの代表作。「にんじん」とは赤毛の主人公につけられたあだ名である。

ヴァロットン＝スイス生まれの画家。十九世紀末から二十世紀初めにかけてパリで活躍した。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部（1）について、筆者はなぜこのように述べているのか、説明せよ。

問二　傍線部（2）は短編と長編のどのような相違を述べたものか、説明せよ。

問三　傍線部（3）について、筆者はなぜこのように考えるのか、説明せよ。

問四　傍線部（4）について、筆者はなぜこのように考えるのか、後の二つの段落を踏まえて説明せよ。

問五　筆者の考えでは、優れた短編はどのように生み出されるのか、本文全体を受けて説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一

二

三

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

四

五

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

本講義の参考文献一覧

最難関大学の受験生が一科目に使える時間は本当に限られています。ですから、参考書もできるだけ厳選しておくべきでしょう。受験生には次の本を薦めます。

受験生用

「入門！論理学」（中公新書）野矢茂樹
「論理トレーニング101題」（産業図書）野矢茂樹
「東大現代文でロジカルシンキングを鍛える」（ＫＡＤＯＫＡＷＡ）柳生好之

より発展的な学習へ（合格後に読んでみてください）

私の講義を聞いて、「もっと論理学について知りたい」と思う方もいると思います（実際に授業ではそういう声を聞きます）。この要望に対して私は「まずは大学に合格しなさい」ということにしています。最難関大学の受験科目は多岐にわたり、その学習範囲は膨大です。ですから、私は最短で合格できるルートを示すようにしています。

ただし、本来の勉強の醍醐味は「知れば知るほど、さらに知りたくなる」ということだと思います。そこで私は「大学に入学したら、こんな本を読んでみたらどうだろう」と提案することにしています。皆さんにもその醍醐味を味わっていただきたいので、「予備校の講義テキストにはない」参考文献一覧をつけておきます。ぜひ、合格後に読んでみてください。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

1、日本語の文法的分析について

「概説　日本語」（朝倉書店）北原保雄
「日本語の文法」（ひつじ書房）　高橋太郎など
「日本語文法入門ハンドブック」（研究社）　加藤重広
「入門　日本語の文法」（アルク）村田水恵
「古典文の構造」（右文書院）中村幸弘、碁石雅利

2、日本語（日常言語）の論理的分析について

a、理論理解系

「入門！論理学」（中公新書）野矢茂樹
「論理学」（東京大学出版会）野矢茂樹
「本当にわかる論理学」（日本実業出版社）三浦俊彦
「議論のルール」（NHK 出版）福澤一吉
「新装版　集合とはなにか」（講談社ブルーバックス）竹内外史
「日常言語の論理学」（産業図書）オールウド、アンデソン、ダール
「論理学をつくる」（名古屋大学出版会）戸田山和久

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

b、実践論理力養成系

「新版　論理トレーニング」（産業図書）野矢茂樹
「論理トレーニング」（産業図書）野矢茂樹
「論理トレーニング101題」（産業図書）野矢茂樹
「論理のスキルアップ」（春秋社）アン・トムソン
「論理パラドクス」（二見書房）三浦俊彦
「論理サバイバル」（二見書房）三浦俊彦
「論理的思考の技法Ⅰ」（法学書院）鈴木美佐子
「論理的思考の技法Ⅱ」（法学書院）鈴木美佐子
「文章を論理で読み解くためのクリティカル・リーディング」（NHK 出版）福澤一吉
「論理表現のレッスン」（NHK 出版）福澤一吉
「法科大学院適性試験［推論・分析力］解法の論理ブック」（実務教育出版）吉岡友治、阿藤俊一
「判断推理がみるみるわかる！解法の玉手箱　改訂版」（実務教育出版）資格試験研究会
「標準　判断推理　改訂版」（実務教育出版）田辺勉

3、論理学の思想的背景について

「分析哲学入門」（講談社）八木沢敬
「分析哲学の誕生」（勁草書房）日本科学哲学会
「分析哲学講義」（筑摩書房）青山拓央

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「言語哲学」（勁草書房）W.G. ライカン

「ウィトゲンシュタイン『論理哲学論考』を読む」（ちくま学芸文庫）野矢茂樹

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

テキスト解答・解説

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講　傍線部内容説明問題

2011年前期理系第二問　林達夫「文章について」

要旨

書かれる言葉は話される言葉と違って、時代や社会によってその使命や性格を異にしている。現代は書かれる言葉は印刷されるものである。よって、書かれる言葉は、即興的に産出され、未完成にとどまる話される言葉とは異なり、一定の時間をかけられて構成され、仕上げを完うされたものとなる。文章には全体との関連において余計なものを取り除く作業が不可欠であるが、その作業により、耳にうったえるものさえも排除してゆく。

解答

問一
単に作家の身体的運動を残している肉筆であるというよりも深い、精神において作家が表現を工夫する努力をすることによって、作家が身体の一部である手を使って紙の上に物理的に残した推敲の痕跡。

解答ポイント
① 単に作家の身体的運動を残している肉筆であるというよりも深い
② 精神において作家が表現を工夫する努力をすること
③ 作家が身体の一部である手を使って紙の上に物理的に残した推敲の痕跡

問二（構文そのまま）
文章を書く際に思想的一貫性に基づいて全体を構成し、全体との連関において余計な部分、冗漫な部分、重複的な部分を取り除く推敲の基礎段階が、既に一定の時間をかけて構成され、再構成され、完成品になる書き言葉を、即興的に生み出され、多少訂正されながらも未完成にとどまる話し言葉と区別させているということ。

問二　別解（構文変更）
文章を書く際に思想的一貫性に基づいて全体を構成し、全体との連関において余計な部分、冗漫な部分、重複的な部分を取り除く推敲の基礎段階からして、一定の時間をかけて構成

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

され、再構成され、完成品になる書き言葉は、即興的に生み出され、多少訂正されながらも未完成にとどまる話し言葉とは異なるものとなっているということ。

解答ポイント

① 文章を書く際に思想的一貫性に基づいて全体を構成し、全体との連関において余計な部分、冗漫な部分、重複的な部分を取り除く推敲の基礎段階

② 既に一定の時間をかけて構成され、再構成され、完成品になる書き言葉

③ 即興的に生み出され、多少訂正されながらも未完成にとどまる話し言葉

④ ①が②と③を区別させている

解説

問一　傍線部内容説明問題

　傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると、①「もっと」という比較の言葉、②「深いところに根差している」という比喩表現、③「身体的なもの」という筆者特有の用語がポイントであることがわかる。三つのポイントを説明する根拠を本文に求める。

　まず①「もっと」という比較の言葉であるが、傍線部を含む一文に「彼が指摘しているようなかかる表面的な身体性ばかりでなく」とあり、彼（＝アラン）の指摘する「身体性」と筆者の述べる「身体的なもの」が比較されているとわかる。であれば、「かかる表面的な身体性よりももっと」と説明すればよい。「かかる表面的な身体性」の「かかる」は指示語であるから、指示内容を第一段落に求める。すると、「肉筆で書かれたものは、続け字や略字のためにその行間になお何か身振り的なものや舞踏的なものを残している」というのが指示内容として求められる。この点と傍線部の「身体的なもの」を比較するとよい。

　次に②「深いところに根差している」であるが、「深いところ」とは作家の精神を喩えており、「根差している」とはその精神が原因となって現れるということを喩えている。すると、②を説明している箇所は傍線部の次の文の「作家の表現の努力そのもの」（＝作家の精神）の「あとかたであるところの」（＝精神の働きの結果、現れたもの）という部分が対応する。

　最後に③「身体的なもの」であるが、②「作家の表現の努

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

力」の結果現れたものは何かを求める。すると、傍線部の次の文の「消し、直し、書き足し等」というのが、「作家の表現の努力」の結果現れたものであるとわかる。ただし、「〜等」とあることから具体例であることがわかるので、「推敲の痕跡」というように一般化する。そして、「身体的なもの」という部分の説明として、「身体である手を使って行う」という説明を加える。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問二　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると、①「かかる何でもないような浄化の仕事が」という主語に指示語が使われている。また、②「書かれる言葉」③「話される言葉」と筆者特有の用語がポイントとなっている。そして④「書かれる言葉」と「話される言葉」との「区別」（＝差異）がポイントとなっている。この四つのポイントを説明する根拠を本文に求める。

まず①「かかる何でもないような浄化の仕事が」の指示内容を求める。直前の第五段落はヴァレリーの引用であるからさらに前の第四段落に指示内容を求める。すると「この原始的な基礎工作」とあり、この部分にも指示語が使われている。よって、さらに指示内容を求めると、「文章はどんな初歩的なものでも例外なく何らかの思想の絆によって全体が貫かれ、引き締められ、この全体的連関の見通しにおいて、絶えず後ろを振りかえり、且つ前を見してそこから余計なもの、冗漫なもの、重複的なものを取り除くという心構えと作業を欠かすわけに行かないのである」とあるので、この部分をまとめる。

次に②「書かれる言葉」（＝A）であるが、第三段落に「書かれる言葉は一定の時間をかけられて構成され、再構成され、とにかく仕上げを完うされたものとして、しかる後にその使命を果たさんがためにおもむろに提出される」とある。一方の③「話される言葉」（＝B）は、同段落に「話される言葉は本来即興的にほとんど猶予なしに産出され、産出されるままに多少の訂正と彫琢とを受けながら、しかも多くは未完成にとどまったままその使命を終えてしまうものである」と説明があるので、その部分をそれぞれまとめる。

最後に④「区別」（＝差異）であるが、AとBの説明で、「否定」の関係になっている部分に注目する。するとA「一定の時間をかけられて構成され、再構成され」「とにかく仕上げを完うされたもの」という部分と、B「即興的にほとんど猶予なしに産出され」「多くは未完成にとどまったまま」という部分が「否定」の関係になっているので、この部分を中心

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

に②と③をまとめる。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第二講　傍線部理由説明問題

2010年前期文系第二問　上田閑照「宗教とは何か」

要旨

私たちは確かに人間として生きているが、「人間であるとは一体どういうことか」「本当に生きるとはどういうことか」という問いが起こってくる。私たちは人間であるが、しばしば人間でなくなる。そこに気がつくのは、現実の自分と理想の自分を知る自覚の働きによってである。模範となる人に出会って、自覚は目覚める。そして、真の人間になりたいと望むのである。現代の文明には本質的に人間を非人間化する傾向がある。したがって、真の人間になるために模範となる人から学び、かつ自ら他者の模範となる教育ということが課題となる。

解答

問一

「本当に生きているか」という問いは、非人間的存在になるのか、または真の人間になるのかの両義的可能性の中で、真の人間として生きているかを問うものであるから。

解答ポイント

①「本当に生きているか」という問い

② a 非人間的存在になるのか、または真の人間になるのかの両義的可能性の中で

　b 真の人間として生きているかを問う

問二

「教える」／「学ぶ」ということは模範となる人との出会いによって現実の自分と理想の自分を二重に自覚し、その自覚によって人間が真の人間にも非人間的にもなりうることに気づき、真の人間になろうとして模範となる人から学び、かつ他者の模範となるまでの全プロセスであり、人はそのプロセスを経ることではじめて真の人間となるから。

解答ポイント

① 模範となる人との出会い

② 現実の自分と理想の自分を二重に自覚

③ 自覚によって人間が真の人間にも非人間的にもなりうる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ことに気づき

④　真の人間になろうとして模範となる人から学び

⑤　他者の模範となる

解説

問一　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部を分析すると「『本当に生きているか』と尋ねられると、あるいは、自分で自分に問う場合」という部分と、「『はい』とはっきり答えられるでしょうか」という部分の間に飛躍がある。その飛躍を埋める説明を本文に求める。

まず傍線部の直後を見ると、①「本当に生きているか」と問うと、「これでいいのか」や「人間であるとは一体どういうことか」「本当に生きるとはどういうことか」という「問」が起こってくる。

そして、「人間である」「人間として生き」るとは、第二段落にあるように②「『人間である』とは、人間でなくなるか（＝Pか）、真の人間になるか（＝Qか）、不安定な両義的可能性のなかにあって、どういう人間になるかが問われているということ」である。この文から、「PまたはQ」という可能性があることがわかる。「PまたはQ」はPかQか少なくともどちらか一方が真であるということを示しているだけなので、Qであると結論することはできない。したがって、「『はい（＝Q）』とはっきり答えられない」のである。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問二　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部を分析すると「『教える』／『学ぶ』というそのことが」という部分と、「『人間であること』に本質的である」という部分の間に飛躍がある。その飛躍を埋める説明を本文に求める。

まず①「学ぶ」とは第四段落一文目にあるように「そのような出会いと交わりにおいて人間は、人間から、人間であることを学びつつ、人間として養われて」ゆくということである。そして「教える」ということは第四段落二文目にあるように「人間は、人間に、人間であることを教えつつ、人間を育て」るということである。そして「この全プロセス」が「人間であること」に属している。しかし、ここにまだ飛躍があるので、「この全プロセス」を説明しなければならない。

次に、「この全プロセス」を説明するために、今捉えた部分に含まれる「そのような出会い」の指示内容を求める。す

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ると第三段落十五文目①「これが本当の人間だと感じられ思われる人間に出会って」という部分に説明がある。そして、第三段落十四文目にあるように、そのような人間に出会ってはじめて、②「(現に)ある自分」と「あるべき自分」という二重の自分を「自覚」する（＝目覚める）。そして、第三段落三文目にあるように、この「自覚」によって、人間は③「真の人間」にも「非人間的」にもなりうることに「気がつく」。そして第三段落二文目にあるように、「真の人間」にも「非人間的」にもなりうるということに「気がつい」たら、④「人となる道」を歩む、つまり模範となる人から「真の人間」であることを学ぼうとする（＝「学ぶ」）。そして、⑤今度は自分が他の人の模範となる（＝「教える」）。「この全プロセス」が「人間である」ことに必要な本質である。したがって、「『教える』／『学ぶ』というそのことが」が「『人間であること』に本質的である」と言える。

　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第三講　論理構造分析①「否定」「差異」「類似」

2007年前期文系第二問　中野好夫「多すぎる自己没入型」

要旨

日本人の心は客観的で、理性的で、楽観的な「硬い心」ではなく、主観的で、感傷的、センチメンタルで、悲観的な「軟らかい心」である。このような心では自己と対象を区別することができない。私は「硬い心」に惹かれる。「軟らかい心」のせいで日本の歌は悲壮である。しかし、川柳文学には「硬い心」がある。また、ギリシャの古詩人ホメロスの「オデュッセイア」も「硬い心」で歌われている。

解答

問一

自己と対象とを同一視し、対象に起こった危険な出来事が原因で、自己の心が対象の心と同様の感情になるという主観的で感傷的、悲観的な態度。

解答ポイント

① a自己と対象とを同一視し
　b対象に起こった危険な出来事が原因で
　c自己の心が対象の心と同様の感情になる

② 主観的で感傷的、悲観的な態度

問二

自己と対象を明確に区別し、対象に起こった危険な出来事は自己に起こったものではないと判断でき、その出来事から対象が抱く感情とは異なる見方ができる、客観的で理性的、楽観的な態度。

解答ポイント

① 客観的で理性的、楽観的な態度

② a自己と対象を明確に区別し
　b対象に起こった危険な出来事は自己に起こったものではないと判断でき
　cその出来事から対象が抱く感情とは異なる見方ができる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三

ホメロスの表現では、主人公たちがまず行うのは、怪物の餌食にされた部下数名の状況に同情し悲しんで泣くことではなく、海上で遭難したという自分たちの状況に即して、空腹を感じてたらふく食うことであり、その表現は死んだ部下数名と生き残った自分たちを明確に区別する客観的で理性的、楽観的な態度からくるものであると受け止めている。

解答ポイント

① 怪物の餌食にされた部下数名の状況に同情し悲しんで泣くことではなく

② 海上で遭難したという自分たちの状況に即して、空腹を感じてたらふく食うことであり

③ a その表現は死んだ部下数名と生き残った自分たちを明確に区別する

b 客観的で理性的、楽観的な態度からくる

解説

問一　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を含む一文を分析すると、①「アレッ！」という主語、②「対象への自己没入」という筆者特有の用語がポイントである。

まず①「アレッ！」であるが、第三段落二文目に「他人の危険をそのまま己れの危険と感じ、胸のとどろきが直ちに同情の叫びとなり、ジェスチュアとなってあらわれる」とある。これは、つまり「対象と自己の区別がつかず、対象に起こったことが原因で、対象と同じ気持ちになる」ということである。

次に②「対象への自己没入」の説明を第五段落二文目に求める。すると「『軟らかい心』は自己没入型である。主観的で、感傷的、センチメンタルで、悲観的だとたしか規定していたように思う」と説明がある。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問二　傍線部の原因把握問題

傍線部「ヘッ！ころびやァがった」という言葉の原因となる態度を把握する問題。傍線部では「(その心が) ヘッ！ころびやァがったにもなるゆえん (である)」というように主語と述語が省略されている。省略された主語である「その心」が「ヘッ！ころびやァがった」の原因であることがわかる。

「その心」とは①「客観的で、理性的で、楽観的」な「硬い心」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

である。

さらに「へッ！ころびやァがった」の説明を求めると、第四段落二文目に「へッ！ころびやァがったは、いわば出来事と見る人との間の心の距離感の余裕から生まれる」とある。この「出来事と見る人との間の心の距離感の余裕」という部分が、「へッ！ころびやァがった」の原因であることがわかる。ただし、「いわば」という表現に注意する。「いわば」は特殊な言い方（比喩など）をするときに用いられるもので、解答にその表現のまま使うとわかりにくくなる。よって、「出来事と見る人との間の心の距離感の余裕」をわかりやすくする。

「硬い心」は「軟らかい心」とは反対であるので、問一で捉えた説明の反対を考えればよい。「対象と自己の区別がつかず、対象に起こったことが原因で、対象と同じ気持ちになる」の反対は②「自己と対象を明確に区別し、対象に起こった出来事は自己に起こったものではないと判断でき、その出来事から対象が抱く感情とは異なる見方ができる」と説明する。これが「出来事と見る人との間の心の距離感の余裕」である。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問三　傍線部の例を説明する問題

傍線部の「ホメロスの表現」という例を説明する問題である。まず傍線部を分析すると、「空腹も忘れて悲しんだ」とは「書いていない」とある。「空腹も忘れて悲し」むというのは、「自分たちの空腹」を忘れて、「死んだ仲間に同情し悲しむ」ことであるから、「軟らかい心」である。しかし、そのようには「書いていない」のだから、「ホメロスの表現」は反対の「硬い心」から生まれた表現だということになる。

よって、主人公たちがまず行うのは、①「怪物の餌食にされた部下数名の状況に同情して悲しんで泣くことではなく」、②「海上で遭難したという自分たちの状況に即して」「空腹を感じてたらふく食う事」である。そして、その表現は③「死んだ部下数名と生き残った自分たちを明確に区別する」「客観的で理性的、楽観的な態度からくる」とまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　論理構造分析②「条件法」「連言」「選言」

2001年前期文理共通第一問
高階秀爾「近代美術における伝統と創造」

要旨

人は先人の見方を学ぶことによってしか、見ることはできない。その固定した様式は、先輩から後輩へ、師匠から弟子へと伝えられていった。しかし、それだけでは伝統は生まれてこない。伝統となるためには伝えられたものがモデルないしは手本として意識されることが必要である。そして、意識されるためには、失われるか、失われそうになるかという危機にさらされていなければならない。

解答

問一

人は先人から絵画の表現様式を学ぶだけでなく、混沌とした世界に先人と同じような秩序をあたえてはじめて、対象を明確にした視覚的映像世界を認識することが可能になるという意味。

解答ポイント

① 先人から絵画の表現様式を学ぶだけでなく
② a 混沌とした世界に先人と同じような秩序をあたえてはじめて
　 b 対象を明確にした視覚的映像世界を認識することが可能になる

問二

伝統となるためには、先人から伝えられ固定した様式である必要があるが、それだけでは伝統となるのに十分ではなく、先人から伝えられてきたものが守るべきモデルないしは手本として意識されるということが必要であるという意味。

解答ポイント

① 伝統となるためには
② 先人から伝えられ固定した様式
③ ②が必要である
④ a それだけでは伝統となるのに十分ではなく
　 b 先人から伝えられてきたものが守るべきモデルないし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

　は手本として
c 意識されるということが必要である

問三

先人から伝えられた固定した様式が失われた、または失われそうであるという危機においてはじめて生じる、その古くから伝えられてきた様式が現在の世代が目指すべきモデル、または手本であるという意識が、伝統という言葉には必要であるから。

解答ポイント

① 伝統であるためには②と③が必要
② 古くから伝えられてきた様式が現在の世代が目指すべきモデル、または手本であるという意識
③ 先人から伝えられた固定した様式が失われた、または失われそうであるという危機

解説

問一　傍線部内容説明問題

　傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると①「すらも」という「連言」（＝添加）、②「見る」というリオネルロ・ヴェントゥーリ特有の用語がポイントであることがわかる。このポイントを説明するための根拠を本文中に求める。

　まず、①「すらも」であるが、「Aだけでなく、Bすらも」という「連言」の構文になっていることに注目する。であれば、Aは何か、そしてBは何かを考えればよい。Aに相当するのは、傍線部の直前にある。「『見る』ということは、絵画の表現様式の比喩であるばかりでなく」とあることから、Aは「絵画の表現様式」であることがわかる。そして、Bは「視覚的映像世界」のことであるとわかる。

　次に②「見る」＝「視覚的映像世界」の説明を求める。すると、傍線部の次の文に「逆にいえば」とある。そして「人は『先輩や師匠』がそう見たようにしか見ることはできない」とあることから、「見る」ためには「先輩や師匠」の「眼」を学ぶ必要があるということがわかる。そして、第一段落八文目にあるように、「先輩や師匠」の「眼」を通して人は、「混沌に秩序をあたえ、対象を明確に認識」するのである。これが「視覚的映像世界」の説明となる。

　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると①「伝統」という筆者特有の用語、②「歴史」という筆者特有の用語、③「必要」という「条件法」、④「ではない」という「否定」というポイントがある。以上のポイントを説明するための根拠を本文中に求める。

まず②「歴史」であるが、第三段落一文目に「このように先輩から後輩へ、師匠から弟子へと伝えられていった固定した様式は、伝統を形成する重要な要素である」とある。この部分が「伝統に歴史は必要である」と同じことを言っているので、「歴史」とは「先輩から後輩へ、師匠から弟子へと伝えられていった固定した様式」である。

次に、③「必要」という「条件法」であるが、①Ａ「伝統」にとってＢ「歴史」が必要条件になっているということである。さらに④「ではない」という「否定」であるが、これは、Ａ「伝統」にＢ「歴史」は「必要」であるが、Ｂだけでは「十分」でないという意味である。よって、「ＢかつＣ」が「Ａ」の必要十分条件であることを説明すればよい。そこで「Ｃ」の説明を求める。

すると、第三段落五文目に④「伝統は、それと意識されることによってはじめて伝統となる」とある。また、第三段落六文目に「古くから伝えられてきたものが一つのモデル、ないしは手本として意識された時に伝統というものになるのである」とある。よって、Ａ「伝統」であるためには、Ｂ「先輩から後輩へ、師匠から弟子へと伝えられていった固定した様式」であり、かつＣ「一つのモデル、ないしは手本として意識」される必要がある。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問三　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部を分析すると「伝統ということばには」という部分と「つねに幾分か理想主義的な憧れとノスタルジーがこめられている」という部分の間に飛躍がある。よって、この飛躍を埋める「伝統」の説明を本文中に求める。

まず①「伝統」とは問二で捉えたように②「一つのモデル、ないしは手本として意識」される必要がある。「モデルないしは手本」という部分から、「理想主義的な憧れ」という部分に繋がる。

次に「伝統」が「意識」されるためには③「危機」に瀕していなければならない。そのことが第四段落三文目に「古く

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

から伝えられてきてほとんど生活の一部となっているものがあらためて強く意識されるのは、それが失われた時か、あるいは少なくとも失われようという危険にさらされている時である」とある。よって、「意識」されるためには、③「それが失われた時か、あるいは少なくとも失われようという危険」に瀕していなければならないとわかる。この部分から「ノスタルジー」に繋がる。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　論理構造分析③「心情」「因果関係」

２００２年前期文理共通第一問　高井有一「半日の放浪」

要旨

息子の毅夫は、最初今の家の建替えではなく、郊外への引越しを提案した。その周到な態度に、慎重であることを嫌う「私」は反撥する。そして、妻が息子と「私」の考えの中間を取って、建替えを提案する。「私」は妻や息子に感謝しつつも、自分の建てた家屋を失い、自分が中心でなくなったことに対して虚しさと憤りを感じている。そして居たたまれなくなり、家を出ようとした。

解答

問一

「私」は戦後間もない時期に建てて長年住んだ家に愛着があり、慎重であることを一流ではないと嫌う性格であったが、息子が周到な準備をして、郊外への移住を勧めたから。

解答ポイント

① 息子が周到な準備をして、郊外への移住を勧めた
② 「私」は戦後間もない時期に建てて長年住んだ家に愛着があり
③ 慎重であることを一流ではないと嫌う性格であった

問二

「私」は家の環境が変わり、日照が失われたことをいまいましく思っており、日照が失われたことで寒くなったと非難したい気持ちであり、「妻」は「私」の気持ちに共感していないため、私のわざとらしい嚔に対して、そんなに寒くはないだろうと滑稽に思う気持ちである。

解答ポイント

① a「私」は家の環境が変わり、日照が失われたことをいまいましく思っており
　b日照が失われたことで寒くなったと非難したい気持ちであり
② a「妻」は「私」の気持ちに共感していないため
　b私のわざとらしい嚔に対して、そんなに寒くはないだろうと滑稽に思う気持ち

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三

「私」は建替えを認め、妻の気遣いに感謝しているものの、家に対して愛着を抱いているため、その家屋が息子や妻の意向で取り壊されることに虚しさを感じており、また定年まで自分が一家の中心であったのに、妻が退職した自分と今後世話になる息子の意向を折衷したことに憤りを感じている。

解答ポイント

①「私」は建替えを認め、妻の気遣いに感謝しているものの

② a家に対して愛着を抱いているため
b その家屋が息子や妻の意向で取り壊されることに
c 虚しさを感じており

③ a 定年まで自分が一家の中心であったのに
b 妻が退職した自分と今後世話になる息子の意向を折衷したことに
c 憤りを感じている

解説

問一　心情把握問題

傍線部の「心情」の「原因」を把握する問題である。傍線部を分析すると①「何事にも周到な彼が郊外分譲地のパンフレットを持ってやって来たとき」が「原因」であることがわかる。そして、「自分でも予期しない反撥心が湧いた」が「心情」である。この「原因」と「心情」の間に「飛躍」があるため、その「飛躍」を埋める条件を本文中に求める。

まず、リード文に②「長く住んだ自分の家」「戦後間もない時期にこの家を建て」とあることから、「家に対する愛着」があるのではないかと考える。すると②「戦後間もない時期に建て、長く住んだ家に愛着がある」から、①「郊外分譲地に移住すること」に「反撥心が湧いた」という因果関係が成立する。

また、第三段落九文目に③「お前みたいなのは一流にはなれんぞ」という「私」の発言がある。「お前みたいなの」とは第三段落八文目にあるように「常に自分の能力で手の届く範囲を慎重に計量」する「慎重さ」である。このことから、「私」は「慎重」な息子の性格があまり好きではないことがわかる。すると、③「慎重」な息子の性格があまり好きでないから、①「何事にも周到な彼」に対して、「反撥心が湧いた」という因果関係が成立する。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　心情把握問題

傍線部の「行動」や「反応」の元となる「心情」及びその「原因」を把握する問題である。傍線部を分析すると①「私」の「行動」として「わざと大きな嚔をして」とあり、②妻の「反応」として「笑う」ということがある。それぞれの「心情」と「原因」を本文中に求める。

まず①「私」が「わざと大きな嚔」をしたのは第二段落二文目にあるように「日照が失われたのが、私には応えた」ことが「原因」である。そして、第二段落四文目にあるように「陽の翳る時刻が近づくと庭へ出て、高速道路の向うへ意外な早さで陽が隠れて行くのを、いまいましくみつめていた」とあり、「日照が失われた」ことに対して「いまいましい」という気持ちだったのである。だから、「陽の色が消えると」そのことに対する反撥として「わざと大きな嚔」をしたのである。

次に②「妻」が「笑った」のは、「私」が「わざと大きな嚔」をしたことが「原因」である。「心情」は書いてないので、「原因」と「反応」から、「心情」を推測する。もし妻が「私」と同じ心情になっていたとしたら、「私」の「行動」に対して笑わないであろう。同じような行動をするか、同意するような反応を見せるはずである。ところが、妻は「笑って」いる。よって、妻は「私」に対して、心理的な距離を感じており、「そんなに寒くはないだろう」と思って、私の行動を「滑稽だ」と感じていることがわかる。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問三　心情把握問題

傍線部の「心情」の「原因」を把握する問題である。傍線部を分析すると①「それなのに」という指示語、②「自分の持ち物を無体に取上げられたような虚しさ」という心情、③「憤り」という心情がある。それぞれの「心情」の「原因」を本文中に求める。

まず①「それなのに」の指示内容であるが、第六段落三文目から五文目に「建替え」を「良い解決策」だとし、「妻の気遣いには、感謝している」とある。

次に②「虚しさ」であるが、「自分の持ち物を無体に取上げられた」とあることから、リード文をもとに問一で考察した「戦後間もない時期に建て、長く住んだ愛着のある家」を「建替え」ることが「原因」であるとわかる。

最後に③「憤り」である。第六段落三文目にある「その中間を取って、現実的な案が立てられ、実行に移された」ことが「原因」であるが、これだけでは「憤り」という「心情」は生じない。さらに必要な条件がある。「中間」の案は第五

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

段落に「妻が間に立った。妻は毅夫の話を私より先に聞いて、内心私の賛成を期待していたらしい。どうせあたしの方が後に遺ってあの子の世話になって暮すのだから、あの子の気に入らない事はさせたくない、と言った」とあり、妻の発案であることがわかる。そしてリード文に「会社を定年退職した」とある。以上から、妻は「どうせあたしの方が後に遺ってあの子の世話になって暮す」のだから、息子の意見も尊重するといって、「会社を定年退職した」「私」を優先することはしないと言っていることになる。これが原因で、定年まで一家を支えてきた「私」は「憤り」を感じているのである。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第六講　過去問実践演習

２０１４年前期理系第二問　大庭みな子「創作」

要旨

創作とは何もないところから何かを作り出すわけではなく人間社会の生活の中にあるものを掘り出す作業である。また、芸術家には不自然な生活による独創性は必要ではない。専門家のように特殊なことをするのではなく、一般的な人生を独自の言葉で語るのが創作である。

解答（３０点）

問一　１０点

人間社会の生活の中で言いたいことを言えずに口ごもって生きている人びとが呟いた言葉に、作者が心を打たれ拾い上げることによって、文学が作られるということ。

解答ポイント

① a 言いたいことを言えずに口ごもって生きている人びとが呟いた言葉に（２点）
　b 作者が心を打たれ拾い上げる（２点）
② 一般的生活の中で（３点）
③ 文学が作られる（３点）

問二　１０点

人間社会の日常生活から離れて珍しい生活を過ごし、自分の力だけで何もないところから何かを作り出そうとするような独創性は芸術家には必要ないということ。

解答ポイント

① a 人間社会の日常生活から離れて（２点）
　b 珍しい生活を過ごし（２点）
② a 自分の力だけで（２点）
　b 何もないところから何かを作り出そうとする（２点）
　c このような独創性は芸術家には必要ない（２点）

問三　１０点

「自然」とは、人間の意図や人為を超えた世界のあり方で、芸術家は日常生活の中にあるその世界をじっと見つめ、自分自身の中にも見つけることではじめて創作することができる

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ものである。

解答ポイント

① 自分自身の中にも見つける（3点）

② a芸術家は日常生活の中にあるその世界をじっと見つめ（2点）
b創作することができる（2点）

③ 人間の意図や人為を超えた世界のあり方（3点）

解説

問一　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると、①「生活の中にかかる虹の橋づめ」という比喩表現、②「埋まっている」という比喩表現、③「金の壺」という比喩表現がポイントであるとわかる。よって、このポイントを説明している部分を本文中に求める。

まず①「生活の中にかかる虹の橋づめ」であるが、第七段落に「この人間社会で、言いたいことを言えずに、口ごもって生きている人びとが、何かのときにふと洩らしてしまう言葉は無数の水滴になり、太陽の光が当たると虹の橋になるのだ」とあることから、「生活の中にかかる虹の橋づめ」とは「この人間社会で、言いたいことを言えずに、口ごもって生きている人びとが、何かのときにふと洩らしてしまう言葉」に「太陽の光（＝作家の目）」が当たり「拾い上げ」ると見えてくるものであると言える。

次に、②「埋まっている」であるが、第五段落一文目に「文学は、生活の中にしか埋まっていない」とあるように「一般的生活の中にある」状態である。そして、③「金の壺」であるが、第六段落一文目に「うずくまってすすり泣く幼児の足の下にも金の壺は埋まっている」とある。よって、「金の壺」とは、一般的な生活の中に埋まっていた「文学」であると考えられる。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問二　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると、①「この種の独創性」と②「必要ではない」という「否定」がポイントであるとわかる。よって、このポイントを説明している部分を本文中に求める。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

まず①「この種の独創性」であるが、第十一段落にある「独創性」の例をまとめなければならない。この例は「珍しい習性（＝生活）」の例であり、問一で捉えた創作の必要条件である「一般の生活」とは反対のものである。

また②「独創性」が「否定」されている文を求めると、第十二段落三文目に「芸術家は（創作に必要な）生命を無から創り出すわけではない」とある。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

（この問題に関して「否定」で終わるのではなく、「何が必要なのか」を捉えて「肯定」の形で終わらなければならないという説明がされる場合がある。しかし、創作に必要な「自然」が内包する生命を説明する問題が問三に設定されているため、この問題は「独創性」を「否定」する説明に終始する方がよい。）

問三　筆者特有の用語を説明する問題

本文中に使われた筆者特有の用語をわかりやすく説明する問題である。「自然」という言葉が使われた文、及び「自然」の対義語として用いられている「独創性」を否定している文を本文中に求める。

まず、第十段落に、「彼は、彼のまわりにうごめいているものをじっと見つめ、『自然』の中にひそんでいるものを自分自身の中に見つけようとする」とある。ここから「自然」とは、①「自分の周りにあるもので、自分自身の中にもあるもの」だとわかる。

次に、第十三段落に「『自然』から何かを掘り出すことのできる人間」や「『自然』を映した彼らの生活そのものが芸術品」とあることから、「自然」とは②「芸術の源である日常の生活」であるとわかる。

最後に第十六段落に「小説に書いてもらいたくてする人の話や、書かれまいとして用心している人の話は、あまり面白くないのが普通である」とあることから、「自然」とは③「人間の意図や人為」の反対であることがわかる。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第七講　過去問実践演習

２０１４年前期文系第一問　石原吉郎「望郷と海」

要旨

筆者は一九四五年の日本の降伏後にソビエト連邦軍に抑留されて、望郷の願いを抱くようになった。その想いは自分ではどうにもならない状況にあるため、日本国の方が筆者を呼び戻さなければならないという錯誤であった。そして、二十五年という刑期が宣告され、望郷の願いは断ち切られることになった。

解答（５０点）

問一　１０点（各２点）

ア、凡庸　イ、過渡　ウ、飢餓　エ、恐慌　オ、完璧

問二　８点

捕虜が故国を思う気持ちは、自分は自由に動けず外部の環境が動くことを希求するしかないという点で、植物と同じであるという意味。

解答ポイント

①捕虜が故国を思う気持ちは（２点）
②ａ自分は自由に動けず（２点）
　ｂ外部の環境が動くことを希求するしかない（２点）
　ｃ植物と同じである（２点）

問三　８点

監視兵は捕虜たちが喚声をあげたことで、怒って駆けつけたが、その喚声の原因が二十五年という長期の刑期を言い渡されたことだと分かり同情したので、怒る気持ちがなくなったから。

解答ポイント

①ａ怒って駆けつけたが（２点）
　ｂ怒る気持ちがなくなった（２点）
②監視兵は捕虜たちが喚声をあげたことで（２点）
③その喚声の原因が二十五年という長期の刑期を言い渡されたことだと分かり同情した（２点）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　８点

何も根拠がなくただ信じていただけの観念や思想は、その実現の可能性を明確に否定されてはじめて、信じていた観念や思想が肉体的な感覚として実感されるということ。

解答ポイント

① 何も根拠がなくただ信じていただけの観念や思想（２点）
② ａその実現の可能性を明確に否定されて（２点）
　ｂ②してはじめて③（２点）
③ 信じていた観念や思想が肉体的な感覚として実感される（２点）

問五　１６点

筆者たち捕虜はソビエト連邦に管理される身となり、日本国に復帰することを希求していた。また、筆者たちは自由に動けなくなったため、日本国の方も罪状が些細である筆者たちを復帰させようと希求していなければならないと思い込んだ。しかし、長期の刑期を言い渡され、復帰の実現可能性を否定されることによって、その望郷の願いが実は錯誤であり、筆者たち自身の欲求でしかないとわかったという意味。

解答ポイント

① ａしかし、長期の刑期を言い渡され（２点）
　ｂ復帰の実現可能性を否定される（２点）
　ｃその思いが実は錯誤であり（２点）
　ｄ筆者たち自身の欲求でしかないとわかった（２点）
② ａ筆者たち捕虜はソビエト連邦に管理される身となり（２点）
　ｂ日本国に復帰することを希求していた（２点）
　ｃ筆者たちは自由に動けなくなったため（２点）
　ｄ日本国の方も罪状が些細である筆者たちを復帰させようと希求していなければならないと思い込んだ（２点）

解説

問一　漢字の問題

漢字の書き取りの問題である。エ、「きょうこう」は様々な漢字が想定できるので、文脈をしっかり捉えたい。「二十五年」の刑期の判決文が原因での「混乱ときょうこう状態」とあるので、「恐慌」と書けるとよい。その他は標準的な書き取りである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問二　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を含む一文を分析すると、①「望郷とは」という主語、②「植物の感情」という比喩表現がポイントである。以上のポイントを説明している部分を本文中に求める。

まず①「望郷」であるが、第一段落に「起訴と判決をはさむほぼふた月を、私は独房へ放置された。とだえては昂ぶる思郷の想いが、すがりつくような望郷の願いに変ったのはこの期間である」とある。このことから、「望郷」とは「自分ではどうにもならない状況＝捕虜として独房に放置された状況」において、他（＝日本国）に「すがりつくような望郷の願い」を持つことであるとわかる。

次に②「植物の感情」という比喩表現であるが、第七段落二文目に「地におろされたのち、みずからの自由において、一歩を移ることをゆるされぬもの」とある。さらに、第七段落六文目に「外部とはすべて移動するものであり、私はただ私へ固定されるだけのものとなった」とある。以上の二箇所が「私」の状況と「植物」の状況の類似点である。したがって、「私」と「植物」に共通する性質として、「自由に動けず」「外部の環境が動くことを希求するしかない」という点が挙げられる。あとは、以上の点で「植物と同じである」とする。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問三　心情把握問題

傍線部における「監視兵」の「態度」の原因を把握する問題である。傍線部を見ると「だまってドアを閉めた」という「行動＝結果」である。よって、その「行動」のもととなる「心情」と「原因」を本文中に求める。

まず①「心情」であるが、「ドアを閉めた」心情は本文に書いていない。ところが、その前に「怒気を含んだ顔」とあることから、初めは「怒っていた」ことがわかる。すると、「怒らないでだまってドアを閉めた」のだから、心情は変化したのだとわかる。心情Ａ「怒っている」から心情Ｂ「怒らない」への変化として「心情」を捉える。

次に心情の「原因」であるが、まず「怒った」（心情Ａ）のは、私たちが②「悲鳴とも怒号ともつかぬ喚声」をあげたからである。その「悲鳴とも怒号ともつかぬ喚声」に対して「怒って」「鎮めよう」としたのである。

ところが、③「捕虜たちが『二十五年』の刑期を言い渡された」（変化の原因）とわかって、「だまってドアを閉めた」のだから、その心情を推し量ると二十五年はかわいそうだと「同情し」「怒る気が失せた」（心情Ｂ）のではないだろうか。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問四　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると①「観念」という筆者特有の用語、②「喪失するときに限って」という「条件法」、③「この感覚への変貌」という指示語と筆者特有の用語がポイントであるとわかる。以上のポイントを説明している部分を本文中に求める。

まず①「観念」であるが、第十三段落五文目に「『手繰られている』ことを、なんとしてでも信じようとしたとき、その一条のものは観念であった」とある。また、第十三段落一文目に「故国へ手繰られつつあると信じた一条のもの」とある。以上より、「観念」とは「信じている一条のもの」であるとわかる。ただし、「手繰られている」というのは、私が「信じている」だけで、実際にはそのようなことはないという点に注意する。

次に②「喪失するときに限って」という部分であるが、第十三段落八文目に「観念や思想が〈肉体〉を獲得するのは、ただそれが喪失するときでしかない」とある。このことから「観念や思想が〈肉体〉を獲得する」ためには「観念が喪失すること」が必要であることがわかる。また、「喪失する」という部分は「信じている一条のもの」＝「観念」が否定された時のことである。（「二十五年」の判決が言い渡された時、自分が日本から手繰られているという観念は否定されている。）

最後に③「この感覚への変貌」であるが、第十三段落六文目に「断ち切られた瞬間にそれは、ありありと感覚できる物質に変貌し」とある。ここにも「それ」という指示語があるので指示内容を求めると「信じている一条のもの」＝「観念」であるとわかる。ここでただ「根拠なく信じていただけ」のものが、実は「肉体的な欲求」であったことが初めてわかるのである。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問五　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。二重傍線部を分析すると、①「錯誤」という筆者特有の用語、②「望郷」という筆者特有の用語がポイントであるとわかる。以上のポイントを説明する根拠を本文中に求める。

まず②「望郷」であるが、第一段落四文目五文目に「望郷の、

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ている。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

その初めの段階に私はあった。この時期には、故国から私が『恋われている』という感覚がたえまなく私にあった」とある。同じような説明が第四段落に「私たちは故国と、どのようにしても結ばれていなくてはならなかった。しかもそれは、私たちの側からの希求であるとともに、〈向う側〉からの希求でなければならないと、かたく私は考えた」とある。以上より、「望郷」とは「筆者たちが日本に復帰することを希求すると同時に、日本国も筆者たちのことを復帰させようとしているという願い」のことである。

なぜ筆者たちはそのような「望郷の願い」を持ったのかというと、リード文にあるように筆者たちは「ソビエト連邦軍に抑留」され、問二で捉えたように、「自由に動けなくなった」ためである。自分たちが動けないから、外部が動くことを希求するようになるのである。

次に①「錯誤」であるが、その「望郷の願い」が錯誤であると分かったのは、問三で捉えたように「二十五年」の刑期が言い渡された時である。その時「故国から復帰を求められている」という可能性が否定され、「私たちの側からの希求であると同時に、故国からも復帰を希求されている」という「望郷の願い」が「錯誤」であり、問四で捉えたように本当は「私たちの側からの希求でしかない」ということが判明し

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第八講　過去問実践演習

２０１５年前期理系第二問
清水幾太郎『流言蜚語』より。一部省略

要旨

報道は人間の生理的な必要である。近代以降、遠くの出来事が個人の生活に影響を及ぼすようになり、また社会が複雑になり、社会の変化が激しくなり、個人が自分で生きて行かなければならなくなったからである。報道は感覚器官そのものになっている。ところが、報道が機能不全に落ちいった場合は、感覚器官が機能不全に落ちいった場合よりも、不安を催すものとなっている。

解答（３０点）

問一　１０点

現代は各個人が自由に生きる権利をもつが、自由に生きるためには、世界の諸国が緊密に結ばれ、遠くの出来事が個人の生活に影響し、社会の複雑性が増し、社会の変化と運動が激しさを増している環境を知らねばならず、報道はその環境を知るためのものだから。

解答ポイント

① a世界の諸国が緊密に結ばれ、遠くの出来事が個人の生活に影響し（１点）
　b社会の複雑性が増し（１点）
　cさらに社会の変化と運動が激しさを増している（１点）
② a現代は各個人が自由に生きる権利をもつ（２点）
　b自由に生きるためには、環境を知らねばならず（２点）
③ 報道はその環境を知るためのもの（３点）

問二　１０点

感覚器官が機能停止した場合は原因が自分の内部にあるのに対して、報道が機能不全または不十分になるか、あるいは吾々から遮断された場合は、原因が自分の外部にあり、対策が立てにくいという点でより不安だということ。

解答ポイント

① 報道が機能不全または不十分になるか、あるいは吾々から遮断された場合（３点）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② a感覚器官が機能停止した場合は原因が自分の内部にあるのに対して、より不安だ（3点）
b原因が自分の外部にあり（2点）
c対策が立てにくい（2点）

問三　10点

現代の環境は世界中が結びつき、複雑な社会の変化と運動が激しさを増しているため、その環境を知り適切な判断をするために必要な報道、通信、交通が機能不全になったならば、自己責任で生きる現代の個人は底知れぬ不安に襲われ、荒唐無稽だと思われることが起こる可能性をも信じてしまうようになるから。

解答ポイント

① 現代の環境は世界中が結びつき、複雑な社会の変化と運動が激しさを増しているため（2点）
② その環境を知り適切な判断をするために必要な報道、通信、交通が機能不全になった（3点）
③ 自己責任で生きる現代の個人は底知れぬ不安に襲われ（2点）
④ 荒唐無稽だと思われることが起こる可能性をも信じてしまうようになる（3点）

解説

問一　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。まず傍線部を分析すると、「現代の人間が報道を欲する」という部分と、「その当然の権利に基づいている」という部分の間に飛躍がある。この飛躍を埋める論証を本文中に求める。

まず、第一段落一文目から三文目に「報道は人間の生理的な必要である。しかもこの必要は近代になってから日をおってその強度を増している。それには色々な理由が考えられる」とある。よって、「色々な理由」の説明を以下に求めていく。すると、「第一に経済的にも政治的にも文化的にも世界の諸国が緊密に結び合され、そのために世界の片隅に起こった事件がやがて各個人の生活に影響を及ぼすようになって来たからであろう」「第二に社会の事情が甚だしく複雑性を加え来っていることが考えられる」「第三に社会の変化と運動とがその激しさを加えて来たことを指摘しよう」という部分が見つかる。この①「社会環境の変化」が第一の条件である。

次に「第四に近代社会においては各個人が自分で生きて行

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

かねばならぬということが注意されねばならぬ」という理由に注目する。これは、環境の変化ではなく、いわば「自由に生きる権利」を得た個人の変化である。ただし、「自らを生きようとするものは、自ら環境に適応せねばならず、自ら環境について知らねばならぬ」とあるように、②「自由＝自分で生きる」という個人の権利を享受するためには、環境について知る必要があるということも述べられる。

　最後に、第二段落六文目以降に「現代においては人間の生活に作用を及ぼすものが、およそ眼や耳の届かぬ遠隔の地に住んでいる。現在では眼や耳、総じて人間の感覚器官は自然のままの形態では最早環境への適応に役立つことが出来ない。感覚器官は補足されねばならぬ。延長されねばならぬ」「電信、電話、ラジオ、新聞、そういうものは吾々の感覚器官の延長であり補足である」とある。これは③環境を知るためには報道が必要であるということを述べている。よって、自由に生きるためには環境を知る必要があり、また、環境を知るためには報道が必要であるということになる。これで「報道」ということと、「自由に生きる権利」がつながる。

　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問二　傍線部内容説明問題

　傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると、①「そう」という指示語、②「ではない」という「否定」がポイントであることがわかる。以上のポイントを説明するための根拠を本文中に求める。

　まず①「そう」の指示内容であるが、第三段落五文目の「それは眼や耳が急にその機能を果たさなくなったのと同じであろう」である。そしてまた「それは」という指示語があるのでさらに指示内容を求める。すると、「報道が機能停止するか、機能を不十分にしか発揮しないか、または吾々が遮断された場合」である。

　次に②「ではない」であるが、直前のポイント①で「報道が機能停止するか、機能を不十分にしか発揮しないか、または吾々が遮断された場合は、眼や耳が急に機能を果たさなくなったのと同じ」であるということを受けて、それを「否定」するために、「同じではない」ということを言っている。つまり、七文目にあるように「報道が機能停止するか、機能を不十分にしか発揮しないか、または吾々が遮断された場合」は「眼や耳が急に機能を果たさなくなった場合」よりも「もっと不安」になるということである。

　最後にその理由であるが、八文目以降に「眼や耳に故障が

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

起こった時、その原因は一般に自分の身体の中にある。医者へ駈けつければ癒るであろう。ところが感覚器官の補足乃至は延長がその機能を営まなくなった時、その原因は勿論自分の身体の内部などにあるのではない。自分の外に、しかも今となっては容易に知ることの出来ないところにあるのである。自分でどうすることも出来ないような強力なものが、その原因となっているのであろう」とある。つまり、「自分ではどうにもならない外部に原因があるため、対策を立てにくい」ということがより不安になる理由である。

以上のポイントをまとめて解答を構成すればよい。

問三　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部を含む一文を分析すると、「報道、通信、交通がその機能を果さなくなった時」と「どんな暗示にも容易にひっかかってしまう」の間に飛躍がある。この飛躍を埋める論証を本文中に求める。

まず「報道、通信、交通がその機能を果さなくなった時」どうなるかというと、問二で「報道が機能不全または不十分になるか、あるいは遮断された場合は、原因が自分の知ることのできない外部にあり、対策が立てにくく、不安になる」ということを捉えている。

また、問一で個人として生きるために、「世界の諸国が緊密に結ばれ、遠くの出来事が個人の生活に影響し、社会の複雑性が増し、さらに社会の変化と運動が激しさを増している環境を知らねばならない」ということを捉えている。そして、「報道はその環境を知るためのもの」である。

まとめると①「遠くの出来事が個人の生活に影響し、社会の複雑性が増し、さらに社会の変化と運動が激しさを増している」ため、何が起きるかわからない②「環境」を知るために必要な「報道」が機能不全に陥った時、③「原因が自分の知ることのできない外部にあり、対策が立てにくく、不安になる」。

すると、第三段落十四文目にあるように④「社会の大衆は後になっては荒唐無稽として容易に片づけることの出来るような言葉もそのまま受け容れ」てしまう。よって、「どんな暗示にも容易にひっかかってしまう」のである。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第九講　過去問実践演習

２０１５年前期文系第二問　里見弴『私の一日』

要旨

永く生きるうちに、親しくした人たちがどんどん死んで行き、死を悼む気持ちがだんだんとなくなってきた。若いうちは親しい者の死に対して、胸いっぱいに痛撃を受けるものだが、そのような痛撃を永年受け続けることはできない。生物の自衛本能というものが、死の痛撃を和らげていくものなのである。その結果、親友の死に際して、痛撃ではなく生前の良い記憶が思い出されるようになる。

解答（５０点）

問一　１０点

永く生きているために、夥しい数の他者の死や誕生に直面して馴れてしまい、その結果生死の一大事を超越したと勘違いするのは感心しないが、生を祝ぎ、死を悼む気持ちが、なくなってしまうのは仕方のないことだということ。

解答ポイント

① 生死の一大事を超越したと勘違いするのは感心しない（３点）
② a 永く生きているために、夥しい数の他者の死や誕生に直面して馴れてしまい（３点）
　b 生を祝ぎ、死を悼む気持ちが、なくなってしまうのは仕方のないことだ（４点）

問二　１０点

大勢の親しくした人たちの死に対して、少しは周囲に遠慮して死なないでいたらどうだと思うが、死は人間の意志を超越した宿命なので、人が周囲に遠慮して死を回避することなどできないということ。

解答ポイント

① 死は人間の意志を超越した宿命（３点）
② 人が周囲に遠慮して死を回避することなどできない（４点）
③ 大勢の親しくした人たちの死に対して、少しは周囲に遠慮して死なないでいたらどうだ（３点）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　１０点

人間として生きていくためには、親しい者の死に際会する場合がほとんど稀な時分に体験する、再び立ちなおれないほどの死の痛撃を永年受け続けないように、鈍感にならなければいけないということ。

解答ポイント

①　親しい者の死に際会する場合がほとんど稀な時分に体験する、再び立ちなおれないほどの死の痛撃（３点）

②　ａ人間として生きていく（超人でないならば）（２点）
ｂ死の痛撃を永年受け続けないように、鈍感になる（３点）

③　ａためには、ｂなければいけない（２点）

問四　１０点

親しい友人が死んだとしても、あらゆる生物に共通する自衛本能が働き、そのまま受け止めればみずからの命を脅かす他者の死の痛撃に対して鈍感になり、故人の肯定的な記憶が自然と思い出されるから。

解答ポイント

①　ａ親しい友人が死んだとしても（２点）
ｂあらゆる生物に共通する自衛本能が働き（３点）

②　そのまま受け止めればみずからの命を脅かす他者の死の痛撃に対して鈍感になり（２点）

③　故人の肯定的な記憶が自然と思い出される（３点）

問五　１０点

親しい者の死に際会する場合がほとんど稀な時分には、親しい人の死の痛撃は立ち直れないほど重いものである。しかし、その痛撃を受け続けると生きていけないので、あらゆる生物に共通する自衛本能が働き、歳を重ねるごとに死の痛撃に対して鈍感になっていく。そして、長年生きていると死の痛撃が和らぐ一方で、故人の良き思い出だけが残るようになっていった。

解答ポイント

①　ａ親しい者の死に際会する場合がほとんど稀な時分には（１点）
ｂ親しい人の死の痛撃は立ち直れないほど重いものである（１点）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

②
a その痛撃を受け続けると生きていけないので（2点）
b あらゆる生物に共通する自衛本能が働き（2点）
c 歳を重ねるごとに死の痛撃に対して鈍感になっていく（2点）
d 故人の良き思い出だけが残るようになっていった（2点）

解説

問一　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると①「不」と②「非」がそれぞれ筆者特有の用語となっている。このポイントを説明する根拠を本文中に求める。

まず②「非」であるが、第一段落五文目に「われながら『非人情』になつたものだ」とある。この「非人情」が「非」である。そして第一段落六文目に「生を祝ぎ、死を悼むのは、古今東西を通じての『人情』なのだから」とあるので、「非人情」とは「永年に亘り、夥しい数の死や生に直面する」うちに、「生を祝ぎ、死を悼む」気持ちがなくなっていくということである。

次に①「不」であるが、傍線部に「『不』は感心しないが」とあり、「非」と逆接でつながっていることがわかる。よって、第一段落五文目「かういふ、老耄と同義語の不感症を、さも、生死の一大事を超越したかのやうに勘違ひはしないにしても、しかし時折、われながら『非人情』になつたものだ、と思ふことはある」の「しかし」の前、「生死の一大事を超越した」と思うことが「不」である。この「生死の一大事を超越した」ということは「勘違ひ」であり、そのようなことは「しない」と筆者は否定している。つまり、「感心しない」ということだ。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問二　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると①「相手」という代名詞に準ずる語、②「死神」という比喩表現、③「遠慮」という筆者特有の用語がポイントであるとわかる。以上のポイントを説明する根拠を本文中に求める。

まず①「相手」であるが、「死神」というように言われていることから、「死」であるとわかる。

次に③「遠慮」であるが、第二段落一文目に「ここ数年来の、親しくした人たちの死に方と来たら、『ちつと遠慮したらどうだ』とボヤキたくなるくらゐだ」とある。「ここ数年来」という期間に「親しくした人たち」が続けざまに「死」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

を迎えたということに対して、筆者に「遠慮」しろと言っているのである。つまり、「自分に遠慮して死なないでいてくれ」と言っているのである。

最後に②「死神」という比喩表現であるが、「遠慮などさせてくれ」ないとあることから、人間の「遠慮」をさせない、人間の意志を超越したものであることがわかる。したがって、「死の運命（宿命）」と捉えればよい。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問三　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると①「さう」という指示語、②「超人」という比喩表現、③「もしAであったとしたら、B」という「条件法」がポイントであることがわかる。以上のポイントを説明するための根拠を本文中に求める。

まず①「さう」であるが、第三段落一文目の「親しい者の死に際会する場合も稀な筈の、少・青年時代、まともに、すなほに、胸いつぱいに受け止める『死』の痛撃」を「この年齢になるまで、満身に浴びとほしに、生きて来られる」ことである。

次に②「超人」であるが、「人でない」ということを表す比喩表現である。また「万年でも横綱が張りとほせる」という部分も比喩表現で、「現実にはありえない」ということを喩えている。

最後に③「もしAであったなら、B」という「条件法」であるが、B「超人＝人でない」という部分（「万年でも横綱が張りとほせる」という部分も）が、現実のことではないため、「対偶」に直してみる。すると、「Bでないならば、Aでない」に先ほど捉えた①②のポイントを代入することになる。「B」に②を、「A」に①を代入するとよい。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問四　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。まず傍線部を分析すると「ニヤニヤと、私の頬の肉はうごめきだすだらう」という部分に飛躍はない。よって、省略された条件を補う必要がある。第五段落一文目にあるように「広津和郎君、野田高梧君と続けさまに急逝の報を受けた」あとの「告別式」で「ニヤニヤと、私の頬の肉はうごめきだすだらう」と読めば、飛躍はみつかる。あとはこの飛躍を埋める論証を本文中に求める。

まず、第四段落に「死んだ人の死によつて、こちらの心

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

身に受ける傷害で寿命を縮められてたまるか、といふやうな、打算的な顧慮から、なるべく控へ目に悲しんで置かうなどと、そんな器用なまねは、いかに世智辛くなつた今の世の中でも、ちよつとやり手があるまい。どだい意識にのぼらず、なほさら、さういふ思議は用ゐないでも、あらゆる生物に共通の、みづから衛る本能の然らしむる所で、是非の範囲外だ」とある。つまり、①「親友の死」に際して、自分の寿命を守るために「あらゆる生物に共通の、みづから衛る本能」が働き、②「死の痛撃」が和らぐ。

と同時に、第六段落一文目二文目に「親しくした歳月の長い短いなどには関係なく、あの日のこと、あの時のこと、……私の性分のせゐか、必ず具象的に、……その場その場の光景で眼前に髣髴として来る。しかもどれ一つとして楽しく愉快な想ひ出でないものはない」とある。つまり、「悲しい」思い出でなく「楽しく愉快な想ひ出」が蘇っているのである。そのような思い出が③「瞑がない目の前の絵となつて現れたとすれば」「ニヤニヤと、私の頬の肉はうごめきだす」のである。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問五　全体把握問題

傍線部を踏まえて、本文全体の趣旨を説明する問題である。傍線部を分析すると①「さういふもの」という指示語、「手が切れてゐた」という比喩表現がポイントであることがわかる。これらのポイントを説明する根拠を本文中に求める。

まず①「さういふもの」であるが、第七段落二文目に「若い頃だつたら、厳粛な『死』を冒瀆するものだ、とか、友情を裏切る軽佻だ、とか、そんな反省、自責に苛まれた」とある。つまり、若い頃の友人の死に対する思いである。

次に②「手が切れてゐた」という比喩表現であるが、「否定」を表している。つまり、「若い頃だつたら、厳粛な『死』を冒瀆するものだ、とか、友情を裏切る軽佻だ、とか、そんな反省、自責に苛まれた」ということが、永年生きるにつれて「なくなっていった」ということである。

よって、「若い頃」の死に対する思いから、「永年生きた後」の死に対する思いというように「変化」を説明すればよい。

解答をまとめる際には今までの問題で捉えたポイントを参考にする。「親しい者の死に際会する場合がほとんど稀な時分には（問三）」、「親しい人の死の痛撃は立ちなおれないほど重いものである（問三）」。（＝若い頃の死に対する思い）「その痛撃を受け続けると生きていけないので（問四）」、「あら

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ゆる生物に共通する自衛本能が働き（問四）」（＝変化の原因）、「歳を重ねるごとに死の痛撃に対して鈍感になっていく（問一）」。そして、「故人の良き思い出だけが残るようになっていった（問四）」。（＝永年生きた後の死に対する思い）

以上のように解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　過去問実践演習

２０１５年前期文系第一問　阿部昭『短編小説礼讃』

要旨

作品にはその分量に相応した文章の調子があり、それ以上長くも短くもなりようがないものである。短編はイメージを語るのに対して、長編は思想を語る。イメージを語る描写は長く引き伸ばせない。そして、人物のイメージを表現するのに最もふさわしいのは会話である。

解答（５０点）

問一　１０点

正しい寸法の作品はそれ以上長くも短くもなりようがないものであり、短編はその分量に相応した文章の調子や性質を持つため、長い物語の要約をしても、長い物語の断片をつなぎ合わせたものにしかならないから。

解答ポイント

① 正しい寸法の作品はそれ以上長くも短くもなりようがないものであり（４点）
② 短編はその分量に相応した文章の調子や性質を持つため（３点）
③ 長い物語の要約をしても、長い物語の断片をつなぎ合わせたものにしかならない（３点）

問二　１０点

短編は短い描写で具体的な物の形象や印象を手早く読者の脳裏に焼き付けるものであるのに対し、長編は作者の合いの手や長い説明や注釈で抽象的な思想をじっくりと読者に理解させるものである。

解答ポイント

① ａ短い描写で具体的な物の形象や印象を（３点）
　ｂ手早く読者の脳裏に焼き付けるもの（２点）
② ａ作者の合いの手や長い説明や注釈で抽象的な思想を（３点）
　ｂじっくりと読者に理解させるもの（２点）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問三　10点

文章のイメージは心に浮かぶものであり、そのイメージは記憶に残り、回想できるようになるまでの十分な時間が必要であるのに対し、絵画の写生のイメージは網膜にうつるものであり、そのイメージは現前しており、現前している瞬間を捉えて表現する必要があるから。

解答ポイント

① a文章のイメージは心に浮かぶものであり（2点）
　b絵画の写生のイメージは網膜にうつるものであり（2点）

② そのイメージは記憶に残り、回想できるようになるまでの十分な時間が必要である（3点）

③ そのイメージは現前しており、現前している瞬間を捉えて表現する必要がある（3点）

問四　10点

『めんどり』は、『にんじん』の登場人物紹介や、各人物の相関関係を表すものになっており、その紹介は直接的、具体的、即効的に人物を表現する会話によって行われており、ルナール自身が会話の描写こそ自分の最も優れた長所であると心得ていたから。

解答ポイント

① 『めんどり』は、『にんじん』の登場人物紹介や、各人物の相関関係を表すものになっており（3点）

② その紹介は直接的、具体的、即効的に人物を表現する会話によって行われており（3点）

③ ルナール自身が会話の描写こそ自分の最も優れた長所であると心得ていた（4点）

問五　10点

短編の作者は記憶に残るイメージをじっくりと回想して、そのイメージを具体的な物の形や印象として手早く読者の脳裏に焼きつけるように書く。またその描写は、短くて、直接的、具体的、即効的にイメージを表現する会話を中心として行われる。そして短編はその分量にふさわしい文章の調子や性質を持つものとして生み出される。

解答ポイント

① 短編の作者は記憶に残るイメージをじっくりと回想し（2点）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

② そのイメージを具体的な物の形や印象として手早く読者の脳裏に焼きつけるように書く（３点）
③ その描写は、短くて、直接的、具体的、即効的にイメージを表現する会話を中心として行われる（２点）
④ 短編はその分量にふさわしい文章の調子や性質を持つものとして生み出される（３点）

解説

問一　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部を分析すると、「ただ長い物語を短くしたもの」という部分と「短編ではない」という部分の間に飛躍がある。以上の飛躍を埋める論証となる部分を本文中に求める。

まず「ただ長い物語を短くしたもの」であるが、第二段落二文目に「鯨をいくら細かく切り刻んでも鰯にはならない、それは鯨の切り身である」とある。これは比喩表現であるが、「鯨」を「細かく切り刻」むとは「長い物語を短くする」ということを喩えており、「鯨の切り身」とは①「長い物語の断片（の集合）」であることを喩えている。

次に「短編ではない」に繋がるために、「短編」との違いを説明する必要がある。「短編」の説明は同段落三文目に「短いというのは、話の長短よりもむしろ文章の性質から来る」とある。また、同段落四文目に「十枚で完結すべき物語はすでにその分量に相応した文章の調子を持っている」とある。以上より「短編」とは②「その分量に相応した文章の調子や性質を持つ」ものであるとわかる。

以上の二つをまとめると、「長い物語を短くしようとしても、長い物語の断片」となり、「短編はその分量に相応した文章の調子や性質を持つ」ことから、両者はまったく異なるものであることがわかる。だから、同段落六文目にあるように③「正しい寸法」の作品は「それ以上長くも短くもなりようがない」。よって、「ただ長い物語を短くしたものが短編ではない」のである。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問二　傍線部内容説明問題

傍線部のわかりにくい部分を詳しく、わかりやすく説明する問題である。特に今回は「短編」と「長編」の「相違」をわかりやすく説明する。傍線部を分析すると①「短編を抒情詩に近いとし」という比喩表現、②「長編を評論や哲学論文になぞらえている」という比喩表現、③「その辺」という指

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

示語がポイントである。以上のポイントを説明する根拠を本文中に求める。

まず③「その辺」であるが、前文にある「『生きた形象から思想が生まれるので、思想から形象が生まれるのではない』という言葉」を指している。ただし、これだけではわからないので、一度保留にしておく。

次に①「短編を抒情詩に近いとし」という比喩表現であるが、第三段落五文目に「具体的な物の形や印象を、手早く読者の脳裏に焼きつけなくてはならない」とある。この焼きつけた「具体的な物の形や印象」が「イメージ」であり、「抒情詩」との共通点も、この「イメージ」である。

そして②「長編を評論や哲学論文になぞらえている」という比喩表現であるが、③で捉えた部分に「形象」と「思想」という言葉がある。「イメージ」が「形象（＝具体的な物の形や印象）」を捉えるものだとしたら、「思想」はその反対であり、「評論や哲学論文」との共通点も「思想」を伝えることであると考える。その「思想」は第三段落一～三文目をまとめると「作者の合いの手や説明や注釈」によって、伝えられるとわかる。さらに、「具体的な物の形や印象を、手早く読者の脳裏に焼きつけなくてはならない」の反対は、「抽象的な思想をじっくりと読者に理解させる」であると考える。

以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問三　傍線部理由説明問題

傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部を分析すると「その喩え」という部分と「むしろ誤解を生みやすい」という部分の間に飛躍がある。よって、この飛躍を埋める論証となる部分を本文中に求める。

まず「その喩え」であるが、傍線部内に「文章でも写生ということがよく言われる」とある。「文章」を「絵画」に喩えて「写生」といったのである。これを詳しく説明している部分は第六段落三文目に「とにかく網膜にうつるものも、心に浮かぶものも、ともにイメージであろう」とある。①「文章」は「心に浮かぶもの」を表し、「絵画」は「網膜にうつるもの」を表すが、ともに「イメージ」であるという点で似ているから、「文章」を「絵画」に喩えて「写生」と言ったのである。

次に「その喩え」が「誤解」に繋がる説明として、「文章」と「絵画」は似ているようで、実は「違う」ということを言わなければならない。その違いを表しているのが、第八段落四文目②「書くためには記憶というフィルターと、回想できるようになるまでの十分な時間が必要である」という部分である。「絵画」の説明自体はないが、「文章」の反対を考える

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

とよい。③「そのイメージは現前しており、現前している瞬間を捉えて表現する必要がある」と説明すればよいだろう。
　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問四　傍線部理由説明問題

　傍線部の飛躍を埋める論証をする問題である。傍線部のある一文を分析すると「作者が巻頭には次の『しゃこ』でも、その次の『犬のやつ』でもなく、是非ともこの『めんどり』を配したいと考えたのは」という部分と「彼一流の計算があってにちがいない」という部分の間に飛躍がある。よって、この飛躍を埋める論証となる部分を、本文中に求める。
　まず①『めんどり』であるが、第十二段落二文目に「それは一編の挿話でありながら、要領のいい人物紹介を兼ねている」とある。また、同段落三文目に「そればかりか、各人物のこの物語における位置や役割や相互の関係といったものを一挙に示す、わかり易い見取り図にもなっている」とある。そしてそれを「会話」によって行っている。
　次に「彼一流の計算」に繋がる部分を求める。すると、その「会話」は第十三段落二文目にあるように②「会話ぐらい直接的、具体的、即効的にその人物を表現してのけるものはない」とあることから、「作者の意図」を表現するのに最もふさわしい方法であることがわかる。また、同段落四文目に③「ルナールがこういう書き方を選んだのは、会話こそ自分の最強の武器であることをよく心得ていたから」とあるように、「自分の意図」を「最も得意な方法」で表しているから、「彼一流の計算」と言えるのである。
　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

問五　全体把握（要約）問題

　本文全体の趣旨を要約する問題である。要約する際には今までの設問で捉えた「短編」の説明をまとめて解答を構成するとよい。
　まず問二、問三で捉えたように、①「短編の作者は記憶に残るイメージをじっくりと回想（問三）」して、②「そのイメージを具体的な物の形や印象として手早く読者の脳裏に焼きつけるように書く（問二）」とする。
　次に③「またその描写は、短くて、直接的、具体的、即効的にイメージを表現する会話を中心として行われる（問四）」とする。
　最後に④「短編はその分量にふさわしい文章の調子や性質を持つものとして生み出される（問一）」とする。
　このように今までの設問で捉えた「短編」を説明するポイ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

ントをまとめて解答を構成するとよい。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。